

2017 PROFILE

2017 HIROSAKI



UNIVERSITY



2017
国立大学法人 弘前大学 概要

世界に発信し、 地域と共に創造する 弘前大学

弘前大学は地域と共に歩んで来た大学であり、そしてこれからも地域と共に歩んで行く大学であることに間違いありません。しかしながら、そのことは私たちの視野が地元に限られるものではないことも繰り返し述べて来ました。例えば、地元の方々と連携した教育研究活動の成果を世界に発信する価値のあるものにしていくことは、弘前大学の大きな役割と認識しています。今や地方社会においても産業や観光はもちろん、さまざまな活動が世界とつながっており、地域の活性化に貢献することを目指す弘前大学においても、あるいは、むしろ弘前大学においてこそ、グローバル化は重要な課題です。グローバル化にもさまざまな側面があると思いますが、間違いなく、弘前大学における教育研究の多様化を図ることが最大の目標であり、そのための取組を強化して来ました。学生が多様なキャンパス環境の中で学ぶことは、専門の教育や研究の成果を活かす上で不可欠であり、グローバル化はそのための大きな要因の一つです。弘前大学の現状はまだ十分とは言えませんが、そのために力を傾注することを大きな目標に据えています。

本州最北端の青森県に存在する弘前大学が世界から隔絶されることはあり得ないと思いますが、多少なりとも、その傾向があってはならないと自戒をこめて考えています。ましてや国内において、北のはずれの一国立大学にとどまることは許されません。強固な地域連携の下に、地域貢献を目指しながら、なおかつしっかりと全国に、そして世界に発信していくことが私たちの理想であり責務です。そのことを通して、以前からの本学のスローガンである“世界に発信し、地域と共に創造する”大学の姿を、より一層明確にしていきたいと思えます。

佐藤 敬

国立大学法人 弘前大学長



PROFILE OF HIROSAKI UNIVERSITY

CONTENTS

- 1……学長メッセージ
- 4……弘前大学の理念・基本方針
- 5……歴代学長・沿革
- 7……組織図
- 8……事務機構図
- 9……教育研究院
- 10……学部・大学院
- 14……附属図書館
- 15……附属病院
- 17……附置研究所
- 18……学内共同教育研究施設
- 19……機構

データ編

- 24……役職員等
- 25……教職員数
- 26……入学者
- 27……学生・生徒数
- 29……卒業・修了者／学位授与数
- 30……就職状況
- 31……日本学生支援機構奨学生数
- 32……国際交流
- 35……国内機関との連携協定等
- 37……財務状況
- 39……キャンパスマップ
- 43……土地・建物
- 44……サテライト
- 45……部局等所在地
- 46……アクセスマップ

理 念

弘前大学は、教育基本法 の精神にのっとり、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者の育成をもって目的とする。

基本方針・弘前大学将来ビジョン

弘前大学は北東北地域の総合大学の一つとして、地域活性化の中核的拠点の役割を追及していくことを基本とする。第2期中期目標・中期計画期間にあつては、再生可能エネルギー、環境、被ばく医療、食の4テーマを大学としての重点分野に位置付け、教育研究と地域連携を実施してきたが、第3期中期目標・中期計画期間においては、これらを含むさまざまな成果の社会還元としてのイノベーション創出と人材育成を通して、地域貢献のさらなる推進を目指すものとする。

また、大学改革にあつては、イノベーションに貢献する理工学系・農学系人材の育成の強化や、小学校教員を中心とした教員養成の質的充実、大学院における教育・研究の充実などが教育・研究組織再編の柱に位置付けられているが、加えて、従来の4重点分野に関する研究実施体制や課題の見直しを図ることは必然と考えられ、また、第3期中期目標・中期計画期間中においても、不断の改革が進められなければならない。大学のガバナンスに関しても、学内における広い議論の集約の下に、自主的な改革を果たしてきたが、その在り方について引き続き検証し、見直すことで、国立大学法人本来の管理運営の下に改革と機能強化を推進していくことが求められる。

これらの取組を通して、弘前大学のスローガンである“世界に発信し、地域と共に創造する”大学の姿をさらに明確にしていくことが本学の使命である。

教育・研究組織

上述の教育・研究組織の再編を完遂することによって、グローバル化の進展、イノベーション創出の必要性、少子高齢化などを背景とした我が国社会の時代的要請に添えていく。また、科学・技術の進歩に伴って、高等教育の軸足は必然的に大学院教育へとシフトしていることをふまえ、学士課程教育との連続性を意識しながら、教育・研究組織の在り方を見直していく。

教育 改革

地域活性化の中核的拠点として、地域のリーダーの輩出が弘前大学の大きな役割であり、グローバルな視点を持って地域課題の解決に取り組む人材がますます重要になりつつあるが、そのためには、教育の目標としては、真のグローバル人材の育成を目指すことが求められる。また、専門的知識や技術を活かすためには、その基盤となる学識・教養を醸成し、調和した人格を形成する教養教育の役割はきわめて大きなものがある。教育改革においては、これらの視点に基づいて、教育の基盤整備に力を入れていくことが必要であり、入学者選抜方法の改善、成績評価の厳格化、アクティブ・ラーニングの強化、学生自身による学びのデザインの推進、学生支援体制の強化などを進める。

研 究 推 進

国際的レベルの研究、発展が期待される基礎的研究及び地域の活性化に寄与する研究の推進を図ることを基本とする。その中で、若手研究者の支援、競争的研究資金の獲得、知的財産の創出と活用、国際的研究交流の推進などの視点に基づいて研究を推進していく。

また、研究分野としては、再生可能エネルギーや被ばく医療を含めた環境全般と食を本学の重要なテーマに位置付け、研究の推進を図る。

地域連携・地域貢献

地域活性化の中核的拠点としての機能の充実を図り、地域の自治体や企業、市民活動団体等との連携を引き続き強化する。特に教育に関しては、アクティブ・ラーニングなどに地域課題への取組を取り入れるとともに、研究においては、地域との共同研究等を通してイノベーション創出への貢献を果たす。さらに、地域の高等教育機関との連携強化によっても、教育・研究活動を通じた地域貢献を強化していく。

グ ロー バ ル 化

学術の国際交流の活性化はもとより、グローバル人材の育成は我が国全体の重要な課題となっており、弘前大学においてもグローバル化をさらに加速することが必要である。教育・研究の強化に加え、キャンパスの国際化の推進や本学学生の海外経験を支援することにより、国際化と多様性を一層強めていく。

管 理 運 営

学長のリーダーシップによる全学的な合意形成を重視し、弘前大学の課題解決と目標達成を果たしていく。特に、国立大学法人を取り巻く現況の中にあつて、構成員の共通認識の醸成の下に、全学一体となって弘前大学が発展を果たしていくため、管理運営の不断の見直しを続ける。

歴代学長

医学博士／理学博士	丸井清泰	1949. 5.31～1953. 8.19
事務取扱	富野壮子路	1953. 8.19～1954. 1.31
理学博士	郡場寛	1954. 2. 1～1957.12.15
事務取扱	富野壮子路	1957.12.15～1958. 1.31
理学博士	野村七録	1958. 2. 1～1962. 1.31
医学博士	佐藤熙	1962. 2. 1～1968. 1.31
経済学博士	柳川昇	1968. 2. 1～1972. 1.31
医学博士	臼渕勇	1972. 2. 1～1978. 1.31
医学博士	大池弥三郎	1978. 2. 1～1982. 1.31
教育学博士	牧野吉五郎	1982. 2. 1～1986. 1.31
医学博士	東野修治	1986. 2. 1～1992. 1.31
理学博士	手代木涉	1992. 2. 1～1996. 1.31
医学博士	吉田豊	1996. 2. 1～2002. 1.31
医学博士	遠藤正彦	2002. 2. 1～2012. 1.31
医学博士	佐藤敬	2012. 2. 1～



旧制弘前高等学校



弘前大学

1949.5.31 設置
2004.4.1 国立大学法人



青森師範学校

学内共同教育研究施設等

- 総合情報処理センター(1994.6.24設置)
- 生涯学習教育研究センター(1996.5.11設置)
- 保健管理センター(1967.6.1設置)
- アイトープ総合実験室(1999.10.1設置)
- 機器分析センター(2003.9.9設置)
- 出版会(2004.6.28設置)
- 資料館(2012.10.1設置)
- ボランティアセンター(2012.10.1設置)
- 放射線安全総合支援センター(2015.10.16設置)
- 健康未来イノベーションセンター(2017.2.22設置)
- 学生総合相談室(1999.11.8設置)
- 学生特別支援室(2016.4.1設置)

附属図書館(1949.5.31設置)

- 医学部分館(1949.5.31設置)

教育研究院

(2015.10.1設置)

本部

- COC推進本部(2014.11.21設置)
- 国際連携本部(2013.4.1設置)・・・再編(2016.10.1)

機構

- 教育推進機構(2012.7.25設置)・・・再編(2015.10.1)
 - 教養教育開発実践センター(2015.10.1設置)
 - アドミッションセンター(2015.10.1設置)
 - キャリアセンター(2015.4.1設置)
 - ・学生就職支援センター(2004.4.1)より改組
- 研究・イノベーション推進機構(2013.12.16設置)
- COI研究推進機構(2013.12.16設置)
- 社会連携推進機構(2014.11.21設置)

その他

- 評価室(2004.4.1設置)
- 法人内部監査室(2008.4.1設置)
- 苦情処理室(2012.5.16改称)
- 男女共同参画推進室(2009.10.1設置)
- 学長戦略室(2016.7.1改称)
 - ・学長室設置(2014.4.1)

学部

人文社会科学部(2016.4.1改組)

- 文化創成課程
- 社会経営課程

- 文理学部設置(1949.5.31)
- 人文学部に改組(1965.4.1)

教育学部(2016.4.1改組)

- 学校教育教員養成課程
- 養護教諭養成課程

- 教育学部、野辺地分校設置(1949.5.31)、野辺地分校廃止(1960.3.31)
- 養護教諭養成所設置(1966.4.1)、廃止(1980.3.31)

- 附属幼稚園(1949.5.31設置)
- 附属小学校(1949.5.31設置)
- 附属中学校(1949.5.31設置)
- 附属特別支援学校(2007.4.1改称)
 - 附属養護学校設置(1974.4.1)

- 附属教育実践総合センター(2001.4.1改組)
 - 附属教育実践研究指導センター設置(1988.4.8)
- 附属教員養成学研究開発センター(2003.10.1設置)
- 附属教員免許状更新講習支援室(2016.10.1移管)
 - 教員免許状更新講習支援室設置(2008.10.1)
- 附属特別支援学校(2007.4.1改称)

医学部(2000.10.1改組)

- 医学科
- 保健学科

- 医学部設置(1949.5.31)
- 医学部附属看護学校設置(1951.4.1)、廃止(1977.3.31)
- 医学部附属助産婦学校設置(1957.4.1)、廃止(1975.4.21)
- 医学部附属衛生検査技師学校設置(1967.4.1)、附属臨床検査技師学校に改称(1972.4.1)、廃止(1978.3.31)
- 医学部附属診療放射線技師学校(1969.4.1)、廃止(1979.3.31)
- 教育学部特別教科(看護)教員養成課程及び医療技術短期大学の改組により医学部保健学科を設置(2000.10.1)
- 附属病院(1949.5.31設置)

理工学部(2016.4.1改組)

- 数物科学科
- 物質創成化学科
- 地球環境防災学科
- 電子情報工学科
- 機械科学科
- 自然エネルギー学科

- 文理学部設置(1949.5.31)
- 理学部に改組(1965.4.1)
- 理工学部に改組(1997.10.1)

農学生命科学部(2016.4.1改組)

- 生物学科
- 分子生命科学科
- 食料資源学科
- 国際園芸農学科
- 地域環境工学科

- 文理学部に【農学科】設置(1951.4.1)、廃止(1955.3.31)
- 農学部設置(1955.7.1)
- 農学生命科学部に改組(1997.10.1)

- 附属生物共生教育研究センター(2000.4.1改組)
 - 附属農場(1956.4.1設置)

- 附属遺伝子実験施設(2011.4.1移管)
 - 遺伝子実験施設(1993.4.1設置)

大学院

人文社会科学研究科(1999.4.1改組)

- 人文学専攻科設置(1972.4.1)、廃止(1999.3.31)
- 人文科学研究科(修士課程)設置(1989.4.1)
- 人文社会科学研究科(修士課程)に改組(1999.4.1)

教育学研究科(2017.4.1改組)

- 教育専攻科設置(1966.4.1)、廃止(1994.3.31)
- 教育学研究科(修士課程)設置(1994.4.1)
- 教職実践専攻(専門職学位課程)設置(2017.4.1改組)

医学研究科(2007.4.1改称)

- 医学研究科(博士課程)設置(1958.4.1)
- 医学系研究科と改称(2005.4.1)
- 医学研究科(博士課程)と改称(2007.4.1)

- 附属脳神経血管病態研究施設(1999.4.1改組)
 - 附属脳卒中研究施設設置(1965.4.1)
 - 附属脳神経疾患研究施設に改組(1989.5.29)
- 附属子どもこのころの発達研究センター(2014.4.1設置)

- 附属動物実験施設(1979.4.1設置)
- 附属高度先進医学研究センター(2005.4.1設置)

保健学研究科(2007.4.1設置)

- 医学系研究科保健学専攻(修士課程)設置(2005.4.1)
- 保健学研究科(博士課程)設置(2007.4.1)

理工学研究科(2010.4.1改組)

- 理学専攻科設置(1969.4.1)、廃止(1978.3.31)
- 理工学研究科(修士課程)設置(1977.4.1)
- 理工学研究科(修士課程)に改組(2002.4.1)
- 理工学研究科(博士課程)設置(2004.4.1)
- 理工学研究科(博士前期課程)改組(2010.4.1)
- 附属地震火山観測所(1981.4.1設置)
- 附属医用システム創造フロンティア(2014.4.1設置)

農学生命科学研究科(2012.4.1改組)

- 農学専攻科設置(1960.4.1)、廃止(1971.3.31)
- 農学研究科(修士課程)設置(1971.4.1)
- 岩手大学連合農学研究科(博士課程)に参加(1990.4.1)
- 農学生命科学研究科(修士課程)に改組(2002.4.1)

地域社会研究科(2002.4.1設置)

- 地域社会研究科(博士課程)設置(2002.4.1)

附置研究所

北日本新エネルギー研究所(2010.10.1)

- 北日本新エネルギー研究センター(2009.3.23)より改組

白神自然環境研究所(2010.10.1)

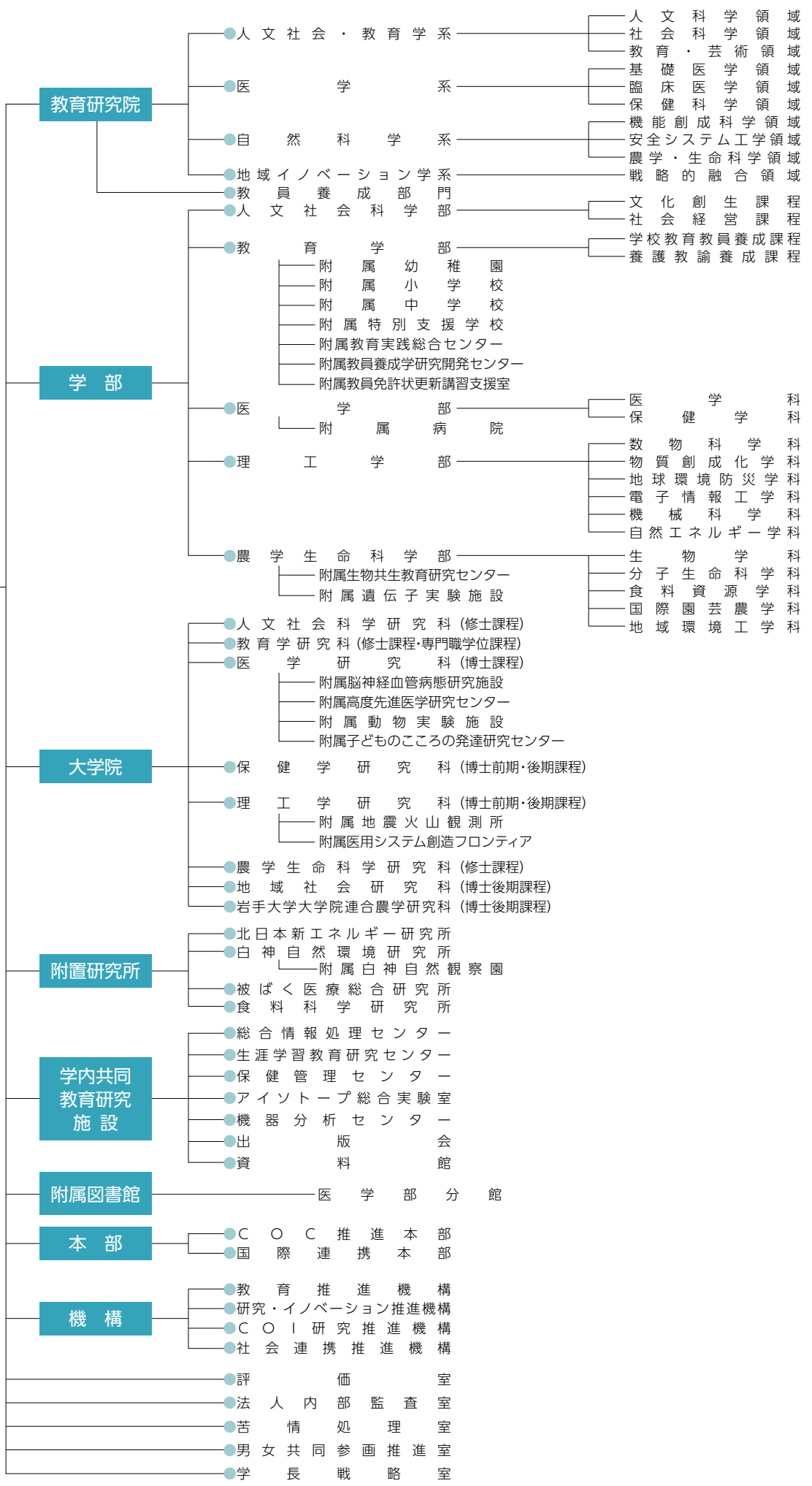
- 附属白神自然観察園(2009.4.1設置)

被ばく医療総合研究所(2010.10.1)

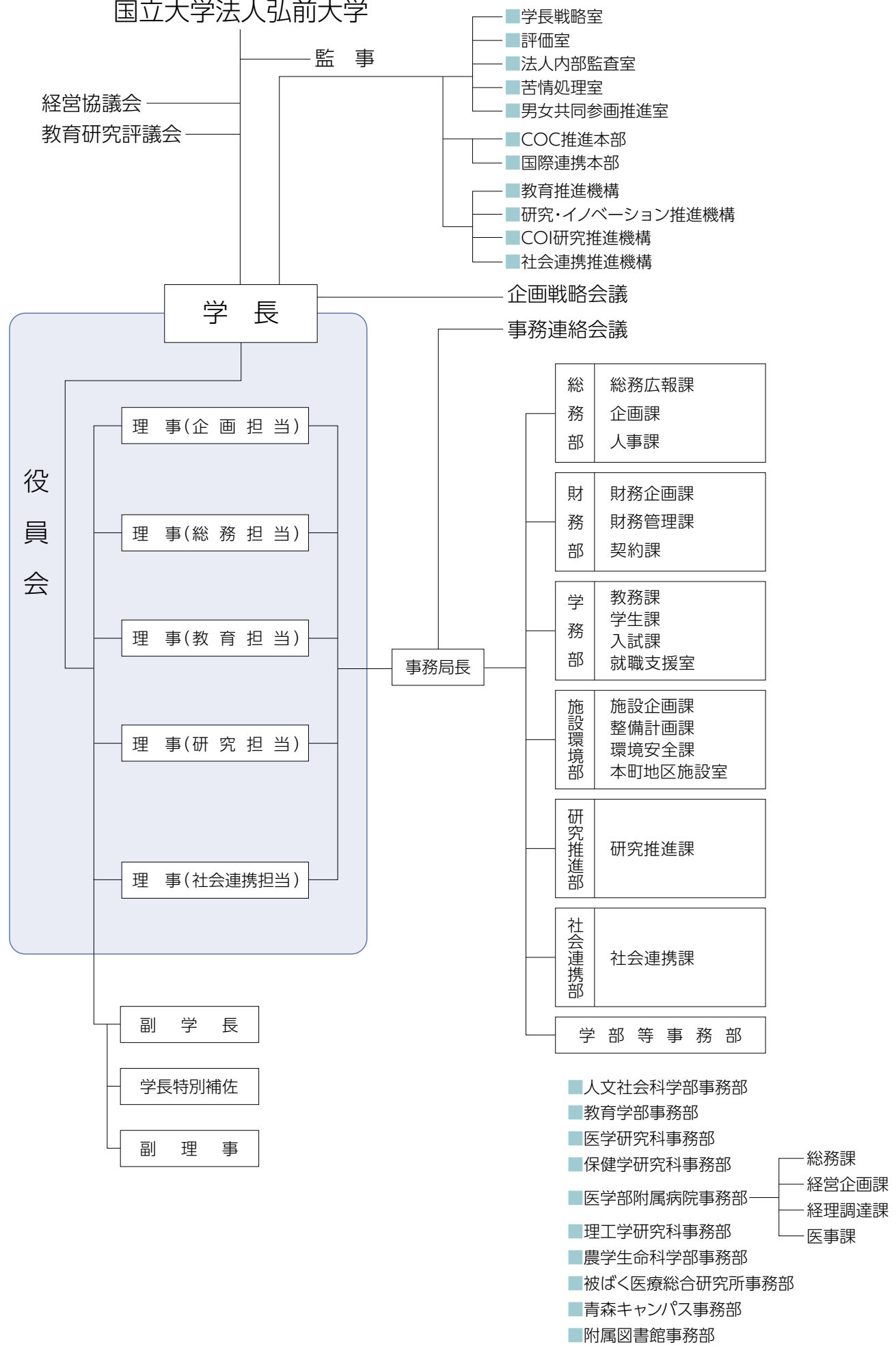
- 被ばく医療教育研究施設(2010.3.23)より改組

食料科学研究所(2013.3.25)

弘前大学



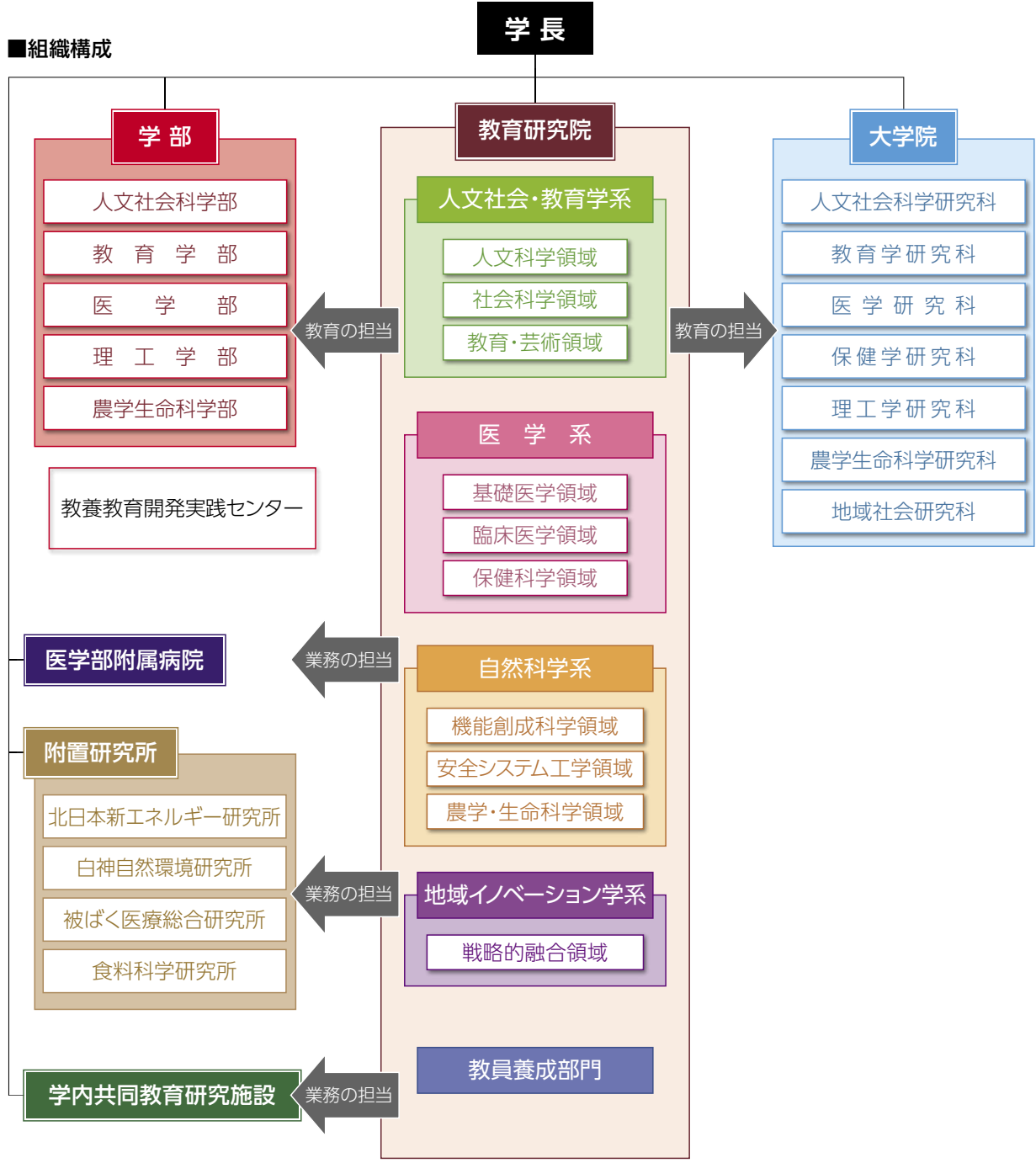
国立大学法人弘前大学



教育研究院

組織

学部、研究科等における教育の高度化と研究の発展を図るため、全学一体として機能発揮できる体制の構築を目的に、教育研究組織から分離した教員組織として「教育研究院」を設置しています。



学系・領域

教育研究院には、基本的学問分野として「学系」を置き、学系の下に学問領域に対応した「領域」を置く。学問領域に加え、本学の特色であるエネルギー、環境、健康、食、地域資源等を活用した地域発展志向の「地域イノベーション学系」を置く。

教員養成部門

教員養成を担当する教員により組織される「教員養成部門」を置く。

学系会議・領域会議

各学系に、学系会議を置き、学系の各領域に領域会議を置く。

教員人事

本学の教育、研究、社会貢献、診療、管理運営等を円滑に実施するため、全学的な視点から一元的な教員人事を行う。

人文社会科学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

時代の変化に対応できる専門知識・技能と課題解決能力の習得を目指して

人文社会科学部は、北東北地域における人文社会科学分野の主要教育拠点の一つです。本学では、少子高齢化の急速な進行、世界規模でのグローバル化の進展等によって、日本社会が大きな変化を迫られている状況の中で、確かな価値観と行動原理に裏付けられた、人文社会科学分野の専門知識・技能と現実の課題解決能力をそなえた人材育成を目指します。



人文社会科学研究科

Humanities and Social Sciences (Master's Course)

地域や世界に開かれた大学院として

人文社会科学研究科は、文化科学専攻と応用社会科学専攻の2専攻のもとに、総合文化社会研究コース、地域人材育成コース、国際人材育成コースという3つのコースを設置しています。各コースでは、それぞれの学問分野に関係した高度で特色のある教育・研究を通して、地域社会の課題や日本および世界全体の動きに対応する高度専門職業人の養成を目指しています。

人文社会科学部

- 文化創生課程(文化資源学コース 多文化共生コース)
- 社会経営課程(経済法律コース 企業戦略コース 地域行動コース)

大学院人文社会研究科(修士課程)

- 文化科学専攻(総合文化社会研究コース 地域人材育成コース 国際人材育成コース)
- 応用社会科学専攻(総合文化社会研究コース 地域人材育成コース 国際人材育成コース)

■人文社会科学部・人文社会科学研究科ホームページ <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/jinbun/web/index.html>

教育学部

Faculty of Education

教員・教育者育成への新たな挑戦

教育学部は、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程から構成されており、優秀な教育者並びに職業人の養成を目標に、人文・社会・自然等の諸科学、芸術、体育並びに教育学に関する教育研究が行われています。そして、その実証的研究や学生の実習を行うため、本学部には教育実践総合センター、教員養成学研究開発センター、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が附属して設置されています。



教育学研究科

Education (Master's Course)

より深く学び、実践的に

教育学研究科は、教育学部の教職及び教科専門に関わる専門教育を基礎として、学校教育専攻並びに教職実践専攻をもつ、修業年限2年の修士課程です。教育科学、教科教育学及び教科専門の諸科学について、精深な教育を行うと共に、高度な教育実践の資質能力を備えた人材を育成し、更に社会の変動とこれに基づく価値意識の多様化に即応して、現職教員の再教育の場を提供し、地域文化の向上や継承のための人材を育成することを目標としています。

教育学部

- 学校教育教員養成課程(初等中等教育専攻 特別支援教育専攻)
- 養護教諭養成課程

大学院教育学研究科

- (修士課程) ●学校教育専攻(教育科学コース 特別支援教育コース 教科実践コース)
- (専門職学位課程) ●教職実践専攻(ミドルリーダー養成コース 教育実践開発コース)

■教育学部ホームページ <http://www.edu.hirosaki-u.ac.jp/>
 ■教育学研究科ホームページ <http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/web/gs/>

医学部医学科 School of Medicine

医学部医学科では以下のような「理念・目標」を定めています

- ①人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担います。
- ②豊かな人間性と高度の医学知識に富み、求められる社会的役割を的確に果たすことができ、広い視野と柔軟な思考力を持つ医師、医学研究者を養成します。
- ③それぞれの専門性を生かした国際水準の基礎的、応用的な医学研究を推進します。
- ④高度で先端的な医療を地域社会と連携しつつ実践します。

医学研究科 Graduate School of Medicine

高度で専門的な教育・研究を行います

医学研究科は、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の発展に寄与することを目的としています。その課程では、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、また、その他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとします。



医学部医学科 ※講座等は大学院医学研究科に所属。

大学院医学研究科(博士課程)

専攻	講 座					
医科学専攻	基礎講座 神経解剖・細胞組織学 病理生命科学	生体構造医科学 感染生体防御学	統合機能生理学 社会医学	ゲノム生化学 法医学	病態薬理学	分子病態病理学
	臨床講座 消化器血液内科学 小児科学 泌尿器科学 脳神経外科学 小児外科学	循環器腎臓内科学 胸部心臓血管外科学 眼科学 歯科口腔外科学 医学医療情報学	呼吸器内科学 消化器外科学 耳鼻咽喉科学 形成外科学 総合診療医学	内分泌代謝内科学 整形外科学 放射線科学 救急・災害医学 薬剤学	腫瘍内科学 リハビリテーション医学 産科婦人科学 臨床検査医学	神経精神医学 皮膚科学 麻酔科学 病理診断学
附属教育研究施設等		講 座				
附属脳神経血管病態研究施設	脳神経病理学	脳血管病態学	脳神経生理学	脳神経内科学		
附属高度先進医学研究センター	分子生体防御学	糖鎖工学				
附属動物実験施設						
附属子どものこころの発達研究センター						
寄附講座	不整脈先進治療学 地域健康増進学 地域救急医療学	先進移植再生医学 高血圧・脳卒中内科学 総合地域医療推進学	地域医療学 大館・北秋田地域医療推進学 オーラルヘルスケア学	心臓血管病先進治療学 地域総合診療医学推進学 生体高分子健康科学		
共同研究講座	アクティブライフプロモーション学	先制栄養医学				

■医学部医学科・医学研究科ホームページ <http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/index.html>

医学部保健学科 School of Health Sciences

高度な医療技術と豊かな人間性を持った医療従事者の育成

医学部保健学科は5専攻を有し、多様な保健医療専門職を養成する機関です。教育学部特別教科(看護)教員養成課程と医療技術短期大学部を前身とし、保健医療専門職教育における長い歴史と実績を有しています。校舎は本町キャンパスに位置し、約800人の学生が所属しています。弘前大学医学部保健学科の使命は、保健学における適切で高度な専門教育を提供し、健康の質を改善すると共に、国民の健康と福祉の増進に寄与することです。



保健学研究科 Graduate School of Health Sciences (Master's Course / Doctoral Course)

問題分析・解析能力を備えた高度医療専門職者の育成

保健学研究科博士前期課程では、学部教育をさらに発展させ、保健学の領域における教育と研究を通して知的財産を創造・蓄積すると共に、実践の場でリーダーシップを発揮し、指導的役割を果たすことのできる“コメディカルスタッフ”の育成を目標としています。また、緊急被ばく医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コース及び放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族及び集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材を育成する放射線看護高度看護実践コースも設定しています。

独創性・創造性豊かな教育研究者の育成

保健学研究科博士後期課程では、学部及び博士前期課程における教育・研究を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、人々の健康を保持増進し、生活の質(QOL)向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進め、幅広い学識と高度な専門性、倫理性を身に付けた教育・研究者を育成することを目的とします。また、緊急被ばく医療における高度な教育者及び研究者を養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コースも設定しています。

医学部保健学科

- 看護学専攻 ●放射線技術科学専攻 ●検査技術科学専攻 ●理学療法学専攻 ●作業療法学専攻

大学院保健学研究科

- 博士前期課程(保健学専攻) ■看護学領域 ■放射線技術科学領域 ■生体検査科学領域 ■総合リハビリテーション科学領域
- 博士後期課程(保健学専攻) ■看護学領域 ■放射線技術科学領域 ■生体検査科学領域 ■総合リハビリテーション科学領域

■医学部保健学科・保健学研究科ホームページ <http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/kouhou/hg/web/>

理工学部

Faculty of Science and Technology

科学力を養い、人間力を磨く

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養う教育カリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探求する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目指しています。



理工学研究科

Science and Technology (Master's Course, Doctoral Course)

理工融合を特徴とした高度専門教育

理工学研究科博士前期課程は、理工学に関わる教育を第一義とし、科学技術の高度化・多様化に順応することのできる「高度専門職業人の育成」を目指しています。数理科学、物理科学、物質創成化学、地球環境学、電子情報工学、知能機械工学、新エネルギー創造工学の7コースと、社会人入学特別コースを開設し、4年間の学部教育と2年間の博士前期課程教育との連携を重視しつつ、更に進んだ理工学教育を行っています。

未来を切り開く先端科学技術の創造

理工学研究科博士後期課程は、社会に役立つ物質・材料の開発とその応用技術の確立を目指す機能創成科学専攻並びに高度に発達した社会における自然災害・人的社会的災害に対する危機管理技術の確立を目指す安全システム工学専攻の2専攻構成になっています。それぞれの専攻では、幅広い視野と柔軟で総合的な判断力を持って課題に対応できる人材を育成します。

理工学部

●数物数学科 ●物質創成化学科 ●地球環境防災学科 ●電子情報工学科 ●機械数学科 ●自然エネルギー学科

大学院理工学研究科

博士前期課程(理工学専攻)

博士後期課程(機能創成科学専攻、安全システム工学専攻)

■理工学部・理工学研究科ホームページ <http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/>

農学生命科学部

Faculty of Agriculture and Life Science

生物学、農学、経済並びに工学における実験と実習を重点的に行います

農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけた人材、課題探究・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍できる人材及び豊かな人間性を身につけ、創造性と主体性を持って地域はもとより国際的にも活躍できる人材の育成を目指しています。



農学生命科学研究科

Agriculture and Life Science (Master's Course)

農学生命科学部分野において高度で専門的な教育・研究を行います

農学生命科学研究科には、生物学、分子生命科学、生物資源学、園芸農学および地域環境工学の5つのコースがあります。それぞれの学生は自身の将来の希望に基づき、2つの教育プログラム、すなわち学術研究プログラム(研究者養成)または実践研究プログラム(専門技術者養成)からいずれかを選択できます。広範囲な技術を理解し、熟練した地域社会の発展に貢献できる高度専門技術者、国際的視野をもつ優れた技術者並びに時代の要請を先取りし先端的研究に挑戦できる研究者の養成を目指します。

農学生命科学部

●生物学科 ●分子生命科学科 ●食料資源学科 ●国際園芸農学科 ●地域環境工学科

大学院農学生命科学研究科(修士課程)

●農学生命科学専攻 (コース: ■生物学 ■分子生命科学 ■生物資源学 ■園芸農学 ■地域環境工学)

■農学生命科学部・農学生命科学研究科ホームページ <http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/>



大学院地域社会研究科 (博士後期課程)

Regional Studies (Doctoral Course)

高度専門職業人の養成

地域社会研究科は、地域の持つ特有の課題に具体的に対処する人材を養成し、併せて実効性のある研究成果を生み出す教育研究機関として、活力ある地域社会の実現に積極的に貢献することを目的とし、2002年度に設置されました。

本研究科は後期3年博士課程の独立研究科で、地域産業研究講座・地域文化研究講座・地域政策研究講座の3講座があります。3年間の学習と研究及び博士論文の作成によって「博士(学術)」の学位を取得できる指導体制をとっており、地域社会のさまざまな分野で活躍中の社会人も多数在籍しています。

●地域社会専攻

地域産業研究講座

地域文化研究講座

地域政策研究講座



■地域社会研究科ホームページ <http://www.hirosaki-u.ac.jp/Tlag/>

岩手大学大学院連合農学研究科 (博士後期課程)

The United Graduate School of Agricultural Sciences, Iwate University (Doctoral Course)

国際水準を目指す研究者や高度専門職業人の養成

弘前大学大学院農学生命科学研究科(修士課程)、岩手大学・山形大学大学院農学研究科(修士課程)及び帯広畜産大学の大学院畜産学研究科(修士課程)の教員組織、研究設備及び施設の連合により設立されました。各大学は、それぞれ教育と研究活動の両面において特色を備えています。本研究科の設置の目的は、我が国の北部に位置する各構成大学の特色を生かした教育と研究体制を整えることによって、生物生産科学、生物資源科学、寒冷圏生命システム学、生物環境科学に関する先端的・学際的諸研究を推進することです。

これらの研究指導を通じて、高度の専門的能力と豊かな学識を備えた研究者・技術者を養成し、我が国の学術研究の進歩と関連産業並びに社会の発展に寄与するものであります。また、本研究科は、学術の国際交流を積極的に進める体制を作り、最近著しく増加している外国人留学生の受け入れについて、積極的に応じています。

●生物生産科学専攻

●生物資源科学専攻

●寒冷圏生命システム学専攻

●生物環境科学専攻



■岩手大学大学院連合農学研究科ホームページ <http://ugas.agr.iwate-u.ac.jp/index.html>

附属図書館

University Library

地域に開かれた“知の交錯する場所”へ

弘前大学附属図書館は1949年5月に設置され、附属図書館本館、医学部分館の構成で運用されています。現在、約82万冊の図書資料を所蔵し、電子ジャーナル約7,400誌や電子ブック3,600点の閲覧が可能です。利用サービスは、休業期間中を除き土曜日、日曜日も開館し、教育・研究活動を支援すると共に地域社会にも公開し、一般の方への貸出も行っています。また、ホームページにより、利用案内、蔵書目録、電子ジャーナル、大学研究情報等の情報発信を行っています。



蔵書数

平成29年3月31日

区分	本館		医学部分館		合計
	和漢書	洋書	和漢書	洋書	
合計	504,875	164,713	82,419	67,578	819,585



利用状況

平成28年度

区分	開館日数	入館者数	貸出	
			人数	冊数
本館	308	236,126	24,605	42,518
医学部分館	335	32,866	7,593	12,969
合計		268,992	32,198	55,487

■附属図書館ホームページ
<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>



「こぎん刺し」や「ブナコ」のライトがお洒落な閲覧室



グループ学習できる「アクティブ・ラーニング・エリア」



明るく開放的な「オープンラウンジ」



太宰治自筆ノートなど貴重な資料も保管



手動式集密書架の収納スペース



医学部附属病院

University Hospital

生命倫理に基づいた高度医療の提供、開発、教育

医学部附属病院は70年余に渡り、北東北医療圏の中心的中核病院として高度・高質医療の提供、先進医療の開発、医療従事者の教育・研修、それらを通しての地域貢献という役割を果たし、発展を続けています。



診療科等

消化器内科	糖尿病代謝内科	心臓血管外科	眼科	小児外科
血液内科	感染症科	消化器外科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科
膠原病内科	神経内科	乳腺外科	放射線科	病理診断科
循環器内科	腫瘍内科	甲状腺外科	産科婦人科	救急科
呼吸器内科	神経科精神科	整形外科	麻酔科	リハビリテーション科
腎臓内科	小児科	皮膚科	脳神経外科	総合診療部
内分泌内科	呼吸器外科	泌尿器科	形成外科	高度救命救急センター

■医学部附属病院ホームページ <http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/>

高度救命救急センター

医学部附属病院には、緊急被ばく医療にも対応する高度救命救急センターが稼働しています。



航空写真(↓センター建造物 ↓ヘリポート)



センター地下1階 特殊処置室(訓練の様様)



病床数

平成29年5月1日現在

診療科	病床種別数		
	一般	精神	感染
消化器内科／血液内科／膠原病内科	37		
循環器内科／腎臓内科	39(49)		※1
呼吸器内科／感染症科	20		
内分泌内科／糖尿病代謝内科	30		
神経内科	9		
腫瘍内科	10		
神経科精神科		41	
小児科	37		
呼吸器外科／心臓血管外科	25		
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	45		
整形外科	48		
皮膚科	12		
泌尿器科	37		
眼科	26		
耳鼻咽喉科	36		
放射線科	19		
産科婦人科	38		
麻酔科	3		
脳神経外科	21		
形成外科	15		
小児外科	6		
歯科口腔外科	10		
救急科	3		
リハビリテーション科	4		
感染症病床			6
R I	5		
I C U	16		
I C T U	4		
N I C U	6		
G C U	10		
S C U	6		
高度救命救急センター	20(10)		※2
合計	597	41	6

※1()内の病床数は、高度救命救急センターの後方病床10床を含む病床数。
 ※2()内の病床数は、後方病床10床を除く病床数。

患者数

平成28年度

診療科	入院患者数		外来患者数	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科／血液内科／膠原病内科	11,221	30.7	29,633	121.9
循環器内科／腎臓内科	16,793	46.0	19,176	78.9
呼吸器内科／感染症科	8,231	22.6	8,416	34.6
内分泌内科／糖尿病代謝内科	9,298	25.5	25,285	104.1
神経内科	2,902	8.0	4,689	19.3
腫瘍内科	4,131	11.3	4,987	20.5
神経科精神科	8,581	23.5	25,093	103.3
小児科	14,200	38.9	7,789	32.1
呼吸器外科／心臓血管外科	9,300	25.5	5,095	21.0
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	14,278	39.1	13,509	55.6
整形外科	16,616	45.5	25,614	105.4
皮膚科	4,559	12.5	16,898	69.5
泌尿器科	13,099	35.9	18,414	75.8
眼科	8,062	22.1	19,543	80.4
耳鼻咽喉科	11,216	30.7	14,715	60.6
放射線科	7,021	19.2	43,179	177.7
産科婦人科	11,636	31.9	22,707	93.4
麻酔科	223	0.6	14,629	60.2
脳神経外科	10,184	27.9	6,243	25.7
形成外科	5,078	13.9	4,458	18.3
小児外科	1,146	3.1	1,903	7.8
歯科口腔外科	3,123	8.6	11,524	47.4
救急科	944	2.6	592	2.4
リハビリテーション科	215	0.6	19,475	80.1
総合診療部	-	-	936	3.9
合計	192,057	526.2	364,502	1,500.0

[注]外来診療実日数243日

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入院患者数	192,027	193,351	190,419	196,773	192,057
外来患者数	370,474	368,847	360,482	360,111	364,502



災害派遣医療チーム(DMAT)



ナビゲーションシステム「O-arm」



遠隔操作型内視鏡下手術システム「ダ・ヴィンチSi」



北日本新エネルギー研究所 North Japan Research Institute for Sustainable Energy (設置：平成22年10月)

研究部門

- エネルギー材料工学部門
- エネルギー変換工学部門
- 地球熱利用総合工学部門
- 海洋エネルギー工学部門
- 海洋エネルギー利活用研究部門

北日本新エネルギー研究所では、寒冷地特有のエネルギーシステムに関する研究・教育・実践を行っています。主な研究は4分野に大別され、(1)低コスト珪砂還元プロセスによる太陽電池級シリコンの製造技術の開発や余剰熱を電気に変換できる熱電変換素子の開発、(2)熱分解や低温ガス化などバイオマスエネルギーの高度利用技術及び再生可能エネルギーから高効率に水素製造技術の開発、(3)地熱発電開発に向けての地熱資源調査・探査、地熱・地中熱資源のポテンシャル評価や温泉発電等多段利用技術の研究開発、(4)海洋エネルギー発電に向けての調査・発電機システムの要素技術群の開発や地域漁業振興を目指すエネルギー利活用法の研究を実施しております。本研究所ではこれら以外にも、風力・潮流発電や省エネルギー関連技術を含めたエネルギー全般に関する研究に取り組んでおり、情報発信と人材育成によって新エネルギー産業の創造と地域産業の育成に努めています。



<http://njrise.cc.hirosaki-u.ac.jp/>

白神自然環境研究所 The Shirakami Institute for Environmental Science (設置：平成22年10月)

研究部門

- 植物部門
- 動物部門
- 気象・地象部門
- 教育・文化部門

UNESCO世界自然遺産にも登録されている白神山地には原生的なブナの林が広がり、多様な動植物が生息しています。この地域の生態系や遺伝子資源の研究は、今後大いに推進すべき価値があります。将来的なブナ林の減少も懸念されているなか、動植物の標本資料の収集や気象関係の基礎データの蓄積はますます重要性を増しています。また、白神山地は一般市民の関心も高く、環境教育の場や子どもたちの理科離れ対策に資する場としても期待されています。このような背景から、本研究所は白神山地を主体として、北東北の動植物の分類学的・生態学的研究、地球温暖化の影響の研究を進めるとともに、人と森林の関係を見つめ直すことを通して環境教育を推進することを目的としています。



<http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/>

被ばく医療総合研究所 Institute of Radiation Emergency Medicine (設置：平成22年10月)

研究部門

- 放射線生物学部門
- 放射線物理学部門
- 放射線化学部門
- 被ばく医療学部門

被ばく医療総合研究所では、外部及び内部被ばく線量評価、放射性核種及び環境放射線(能)の新規分析法・計測法の開発、放射性核種の環境動態解析、染色体異常を用いた被ばく線量評価や発がんのメカニズムなど、被ばく医療に資する基礎的研究を行っています。青森県には多くの原子力関連施設があり、万が一の原子力災害や放射線被ばく事故に備えることが重要です。福島原発事故への対応を受けて、国の原子力災害時および平常時における被ばく医療体制が大きく見直され、弘前大学は原子力災害に対応するナショナルセンターに指定されました。本研究所メンバーはその中心的な役割を果たすことが期待されています。また、弘前大学が掲げた戦略性が高く意欲的な目標・計画のひとつである「放射線科学・被ばく医療の国際的教育・研究拠点の構築」を推進する放射線被ばく医療の専門家集団として、国際的な視野を有する専門人材の育成と世界トップレベルの研究開発にも取り組んでいます。



<http://www.irem.hirosaki-u.ac.jp/>

食料科学研究所 Institute for Food Sciences (設置：平成25年3月)

研究部門

- 食品部門
- 水産部門
- 国際部門
- 地域部門

青森県の地理的特徴および気候条件から、本県は農林水産物資源が豊富かつ多様性に富みます。

本研究所は青森県の農林水産物の機能性研究により、高付加価値化を実現し、競争力のあるブランド形成による地域振興を目的に設置され、現在、食品部門・水産部門・国際部門・地域部門の4部門を有しています。また高度で先端的な基礎研究による食料科学領域学術拠点の形成、産学官金の連携による地域振興、北日本農林水産物の成長戦略と国際化に関する研究開発を推進しています。



<http://www.ifs.hirosaki-u.ac.jp/>

学内共同教育研究施設

■総合情報処理センター (設置:平成6年6月)

総合情報処理センターは、711台の教育用パソコンや各種サーバから構成される情報システムとネットワークの運用を通じて、弘前大学における教育・研究活動及び管理運営業務を支援しています。

また、本学の情報戦略の中核として、学内の情報システムの基盤構築、ペーパーレス会議システムの技術提供、学内ネットワークの監視・解析及び情報セキュリティに関する教育・研究等を通じて、学内の情報化推進及び情報セキュリティの維持を行っています。



■生涯学習教育研究センター (設置:平成8年5月)

生涯学習教育研究センターは、地域の社会教育・生涯学習に関する教育及び研究を行い、地域における社会教育・生涯学習の振興に資することを目的に設置された施設です。

地域づくりや子育て等地域課題の解決に取り組む実践的な活動をしている方や専門家の活動を支援する事業に積極的に取り組んでいます。また、一般市民の方々を対象とした公開講座も実施しております。地域と大学を結ぶ窓口として、これまで以上に地域連携を深めていきます。



■保健管理センター (設置:昭和42年6月)

保健管理センターでは、学生と職員が心身ともに健康な生活を送れるように援助やサービス(健康診断、応急処置、健康相談、カウンセリングなど)を提供し、学生と職員の健康維持と病気予防のための研究調査を行っています。

フィジカルヘルスサービスとして、健康診断で所見があった方、あるいは健康に問題をお持ちの方への説明、相談に応じています。また、メンタルヘルスサービスとしては、学生・職員生活を送る上でのさまざまな悩みや心配事の相談に応じます。



■アイソトープ総合実験室 (設置:平成11年10月)

アイソトープ総合実験室は、放射性同位元素(RI)を利用した教育・研究の学内共同利用施設です。非密封RIを使用した40人規模の学生実習や、医学における基礎的研究、臨床応用研究を中心に、理学・農学などの幅広い分野の実験で全学的に利用されています。

また、法令で義務づけられた教育訓練を実施し、放射性同位元素の使用に関し、適切な安全管理と利用の促進を旨に最善の教育ならびに研究の場を提供するために努めています。



■機器分析センター (設置:平成15年9月)

機器分析センターは、高性能分析機器を導入管理し、効率的な共同利用を推進することで弘前大学の研究の発展に寄与することを目的としています。

機器使用の指導、機器使用からデータの解釈についての討論まで含めた包括的な機器の開放となっており、保有機器を青森県内の民間企業や公的機関に開放し、地域の研究開発を支援しています。



■出版会 (設置:平成16年6月)

弘前大学出版会は、国立大学法人弘前大学設置記念事業の一環として設置されました。学術関連図書の刊行・頒布を主たる事業とし、本学及び北東北地方における研究とその成果の発表を助成することにより、我が国の学術・教育・研究の振興・発展に寄与することを目的としています。

平成19年5月には、有限責任中間法人大学出版部協会への加盟を果たし、学術文化の向上と社会の進展への役割を担っています。



■資料館 (設置:平成24年10月)

資料館は「弘前大学 過去から明日へ」をテーマとし、弘前大学の成り立ちと今どのような研究や教育が行われているかを発信する施設です。

弘前ねぶたの変遷を伝える弘大ねぶた絵の展示、学内の教員やチームが意欲的な研究成果を伝える企画展など、多彩な展示が行われています。太宰の自筆ノートをはじめとして、弘前大学の各部署で所蔵してきた貴重な品々や、新たな研究の成果を中心に展示しています。



教育推進機構 (設置:平成24年7月)

Institute for the Promotion of Higher Education Information

弘前大学の教育理念と目標に沿い、本学の学士課程教育及び大学院課程教育の充実を図るとともに、教育の改善・充実、学生の確保、キャリア形成に係る調査・研究、企画立案及び実施を総合的、全学的に行うことを目的として設置されました。

■**教養教育開発実践センター**

(設置:平成27年10月)

教養教育開発実践センターは、本学における全学担当制による教養教育に関する企画立案、調整及び教養教育の実施並びに教育内容・授業方法の改善及び広報活動を行うとともに、教養教育に関する自己点検・評価について担当しています。



■**アドミッションセンター**

(設置:平成27年10月)

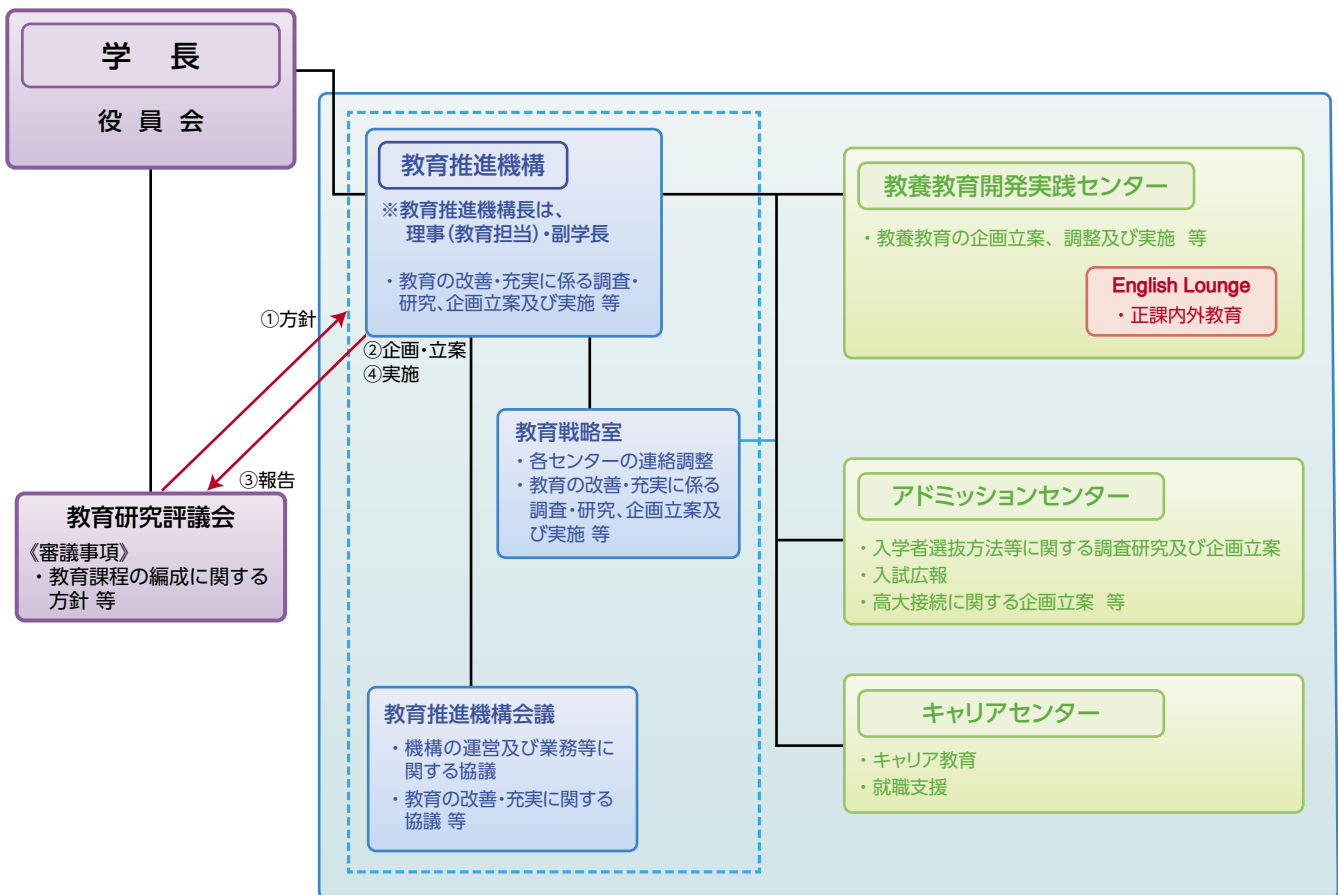
アドミッションセンターは、本学の入学受入方針に応じた優れた入学者を確保するための入学者選抜方法等に関する調査研究・企画立案と、入試広報に関する企画立案・実施を目的としています。「調査研究部門」と「入試広報部門」の2つの部門が置かれ、業務を行っています。



■**キャリアセンター**

(設置:平成28年4月)

キャリアセンターは、キャリア教育及び就職支援を通して本学学生の進路決定や生涯を通じた持続的な就業力の育成をより円滑に推進することを目的としています。インターンシップ、就職ガイダンス、業界研究会、各種企業説明会、就職相談、求人開拓及び情報収集等、さまざまなキャリア支援を行っています。



研究・イノベーション推進機構 (設置：平成25年12月)

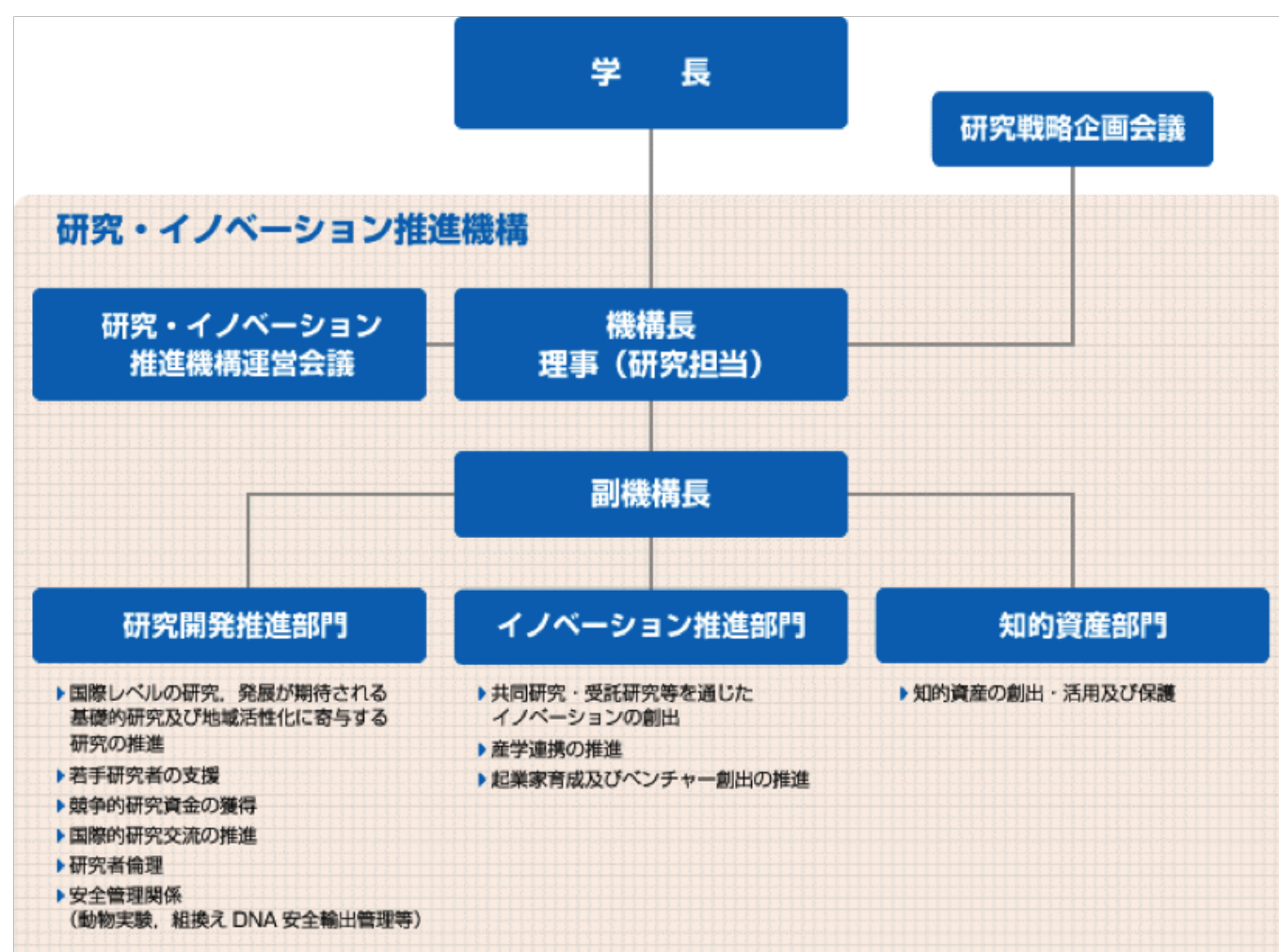
Institute for the Promotion of Research and Innovation

弘前大学では、基礎的研究及び地域活性化に寄与する研究推進を図ることを研究目標とし、再生可能エネルギー、環境、被ばく医療、食の4テーマを重点分野として位置付け、関連する諸課題を中心とした研究を推進しております。

弘前大学研究・イノベーション推進機構は、本学の理念に基づき、研究、イノベーション及び産学連携を強力に推進するため、平成27年10月に新たに「研究開発推進部門」、「イノベーション推進部門」及び「知的資産部門」から成る「研究・イノベーション推進機構」に改組しました。

また、本機構の運営に関する事項の審議並びに本学の研究活動及びイノベーション創出のための方針・戦略等の企画、立案を行う審議機関として「研究・イノベーション推進機構運営会議」を設置し、機構の重要事項等について審議することとしています。

これまでの産学連携活動に加え、研究活動の目標及び4つの重点分野の研究推進とともに、戦略的研究開発、イノベーションの推進及び戦略的知的資産の活用を行い、本学が目標として掲げる「イノベーションの創出と人材育成」を通して、地域貢献のさらなる推進を進め、研究活動の活性化に取り組みます。



COI研究推進機構 (設置：平成25年12月)
The Center of Healthy Aging Innovation

COI研究推進機構は、平成25年に弘前大学が文部科学省・科学技術振興機構(JST)の革新的イノベーション創出プログラム「COI(センター・オブ・イノベーション)STREAM」全国12拠点の一つとして採択されたことで誕生しました(拠点名「真の社会イノベーションを創出する革新的『健やか力』創造拠点」)。

昨夏に国が行った中間評価では、弘前大学COIは医療・健康分野で唯一の【最高評価S】を獲得し、全国的に大きな注目を集めています。COIとは、10年後のあるべき社会の姿や暮らしのあり方(ビジョン)の実現に向け、今すべき革新的な研究開発課題を産学連携で研究・実用化を目指す、バックキャスト型の研究開発支援プログラムです。

弘前大学は青森県の平均寿命が全国最下位であることから、短命県返上を目的に、医学研究科社会医学講座 特任教授 中路重之が中心となって、平成17年度から弘前市の岩木地区で大規模住民健康調査「岩木健康増進プロジェクト」を実施しています。

弘前大学COIではこの研究を拠点の中心に据え、短命県返上を実現した「人生90年型シティ」をビジョンに、岩木健診で蓄積した600項目の健康ビッグデータを活用することで、認知症や生活習慣病など病気の疾患予兆法や予兆因子に基づいた予防法、認知症サポートシステムなどの開発を目指しています。

社会実装=ビジネス化を前提に、産学官連携で取り組むこともCOIのテーマです。弘前大学COIに参画する企業数は今や40社以上に及び、研究機関も合わせると約50機関に達します。企業間や大学間などの連携も多方面で構築され、社会実装化を強力に推し進めているのです。

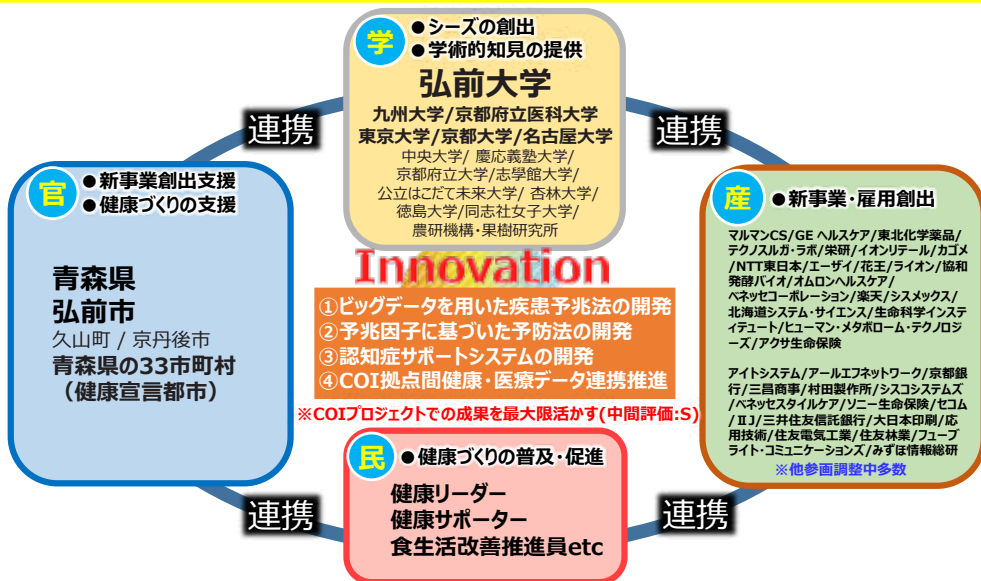
産学官に加えて「民」を巻き込んでいることも弘前大学COIの特長。人材育成に注力し、地域・職域の健康づくりリーダー研修や、青森県内小中学校の健康授業などを積極的に支援し、子どもから大人まで巻き込んだ健康啓発を全県で実施し、社会基盤づくりを同時展開しています。

さらに昨年12月、弘前大学は文部科学省の「地域科学技術実証拠点整備事業」全国22拠点の一つに採択されました。本事業は文部科学省が地方創生を目的に、産学官が連携する施設整備などを支援するものです。

本事業の採択を受け、平成29年2月、本学は健康増進機能を集約した全学組織として「健康未来イノベーションセンター」(センター長 柏倉幾郎)を創設しました。来春には同センター名を冠した拠点施設を医学部キャンパス内に新設し、県や市、企業などCOI参画機関が一堂に会してビジネスを創出する場を完成します。同センターでは健診と啓発を即日で行う「新型(啓発型)健診」の開発・実証を行うとともに、住民参加型の健康づくり施設としての機能を有しています。最終的には、弘前大学発の地方創生に向けた青森県全体の雇用創出や新産業創出に寄与することを目指します。

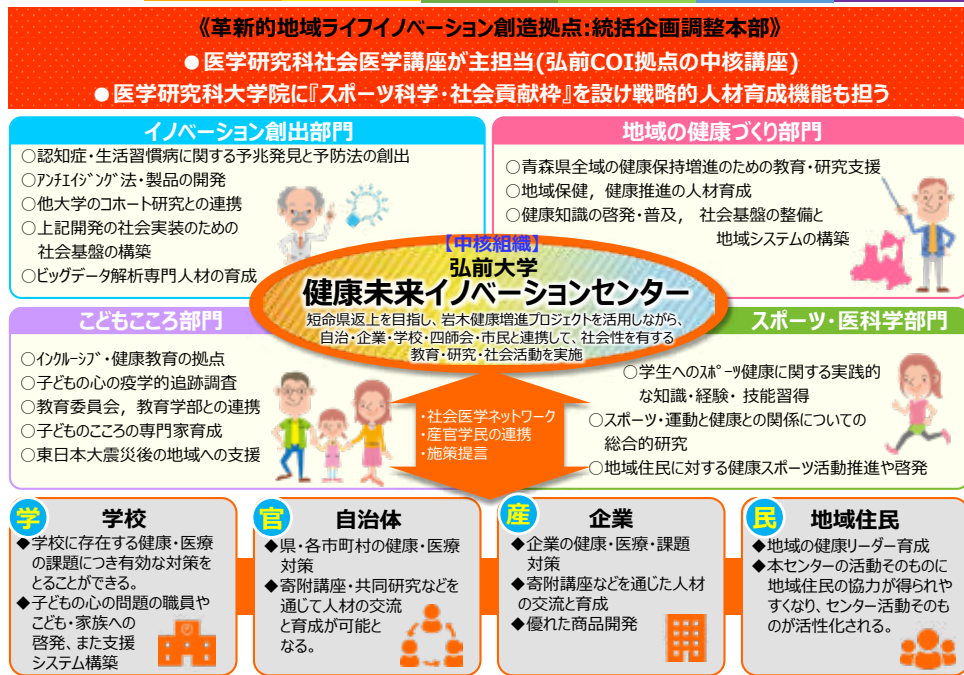
産・学・官・民連携による強力な推進体制を構築

継続的、自発的に多種多様なイノベーションを生み出す『COI拠点』をめざす
(弘前COI:「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」)



(注)弘前COI拠点全体の参画企業・機関すべてを含む

学内研究機能を集約した盤石のマネジメント体制を構築

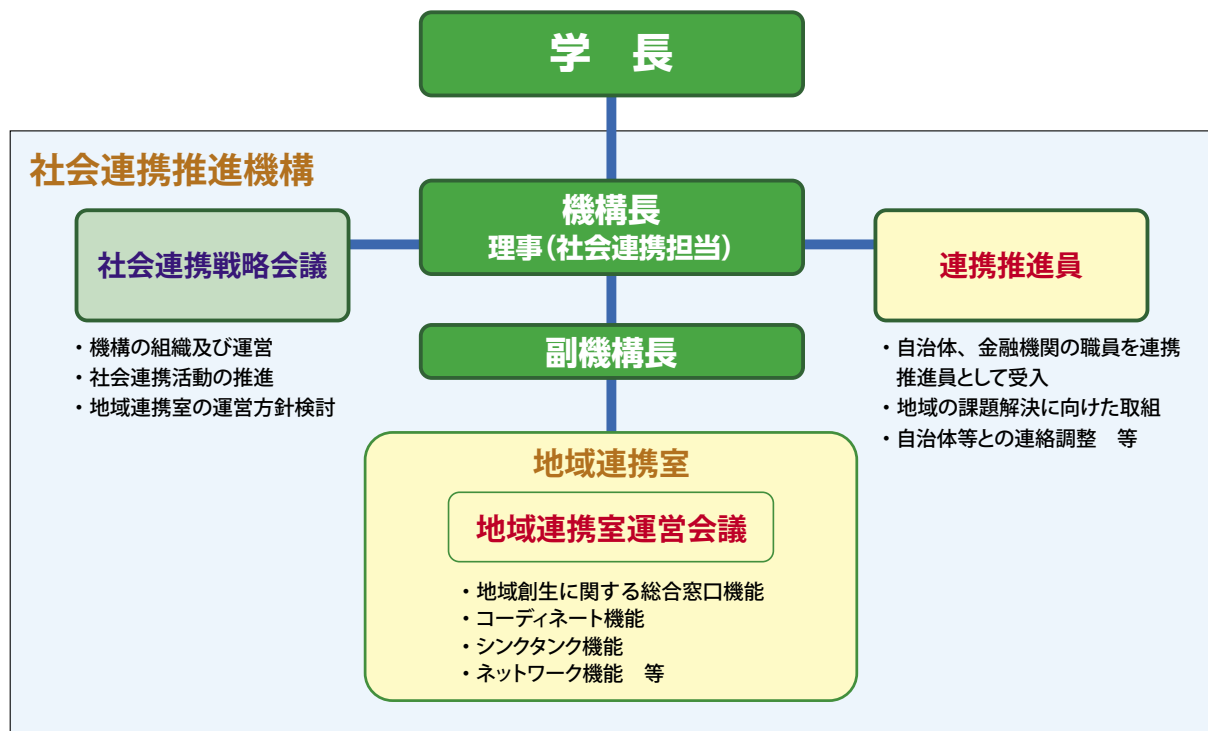



社会連携推進機構 (設置：平成26年11月)
Community Relations Promotion Organization

全学的に社会と連携した教育研究活動を推進するとともに、教育研究活動の成果を地域と結びつけ、地域の持続的な発展を促進するため、平成26年11月に「社会連携推進機構」を設置しました。

本機構の下に、機構の組織及び運営や、本学の社会連携活動を推進する審議機関として社会連携戦略会議を設置するとともに、平成29年4月には、地方創生に対する自治体等の取組に対応するため、本学の強み特色を活かした地域貢献を機動的に推進することを目的とした地域連携室を設置しました。加えて、地域社会との連携活動を活性化させ、青森県内の自治体等との連携体制をより一層強化するとともに、地域の人材育成に寄与することを目的として、自治体や金融機関の職員を連携推進員として受け入れる制度を創設しました。平成29年度は、自治体から8名、金融機関から2名の連携推進員を受け入れ、地域の具体的な課題解決等の事案への取組を進めることとしています。

このほか、むつ市・青森中央学院大学と共同して「むつサテライトキャンパス」を設置し、高等教育機会の充実や滞在型学習の支援、産業振興などに関する事業実施の拠点とすべく取組を進めているとともに、平成28年5月には深浦町と共同して「深浦エコサテライトキャンパス」を開設し、地方創生に取り組む自治体とともに、それぞれの地域の資源を生かした青森型地方創生を推進しています。





データ編



役員等	
学長	佐藤 敬
理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
理事(総務担当)・副学長・事務局長	加藤 健
理事(教育担当)・副学長	伊藤 成治
理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子
理事(社会連携担当)・副学長	大河原 隆
監事	山内 浩
監事	澁谷 尚子
副学長	柏倉 幾郎
副学長	作花 文雄
学長特別補佐	井口 泰孝
学長特別補佐	神本 正行
学長特別補佐	堀内 元博
学長特別補佐	日景 弥生
学長特別補佐	福田 眞作
学長特別補佐	藤岡 正昭
副理事	羽田 隆吉
副理事	曾我 亨
副理事	小山 宏
副理事	村下 公一
副理事	森 樹男

学長選考会議委員	
経営協議会委員	岡井 眞
経営協議会委員	河田 喜照
経営協議会委員	櫛引 利貞
経営協議会委員	熊地 貴志
経営協議会委員	永澤 弘夫
教育研究評議会評議員	今井 正浩
教育研究評議会評議員	若林 孝一
教育研究評議会評議員	加藤 博雄
教育研究評議会評議員	北原 啓司
理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
理事(総務担当)・副学長・事務局長	加藤 健

経営協議会委員	
学長	佐藤 敬
理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
理事(総務担当)・副学長・事務局長	加藤 健
理事(教育担当)・副学長	伊藤 成治
理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子
理事(社会連携担当)・副学長	大河原 隆
医学部附属病院長	福田 眞作
大学院保健学研究科教授	齋藤 陽子
青森県副知事	青山 祐治
(株)日産サティオ弘前代表取締役社長	今井 高志
岡井公認会計士事務所所長	岡井 眞
小田切さとの法律事務所弁護士	小田切 達
国立公文書館長	加藤 丈夫
(株)東奥日報社弘前支社長	河田 喜照
カネショウ(株)代表取締役社長	櫛引 利貞
(株)みちのく銀行特別顧問	熊地 貴志
NPO法人ぶらっと下北代表	島 康子
弘前商工会議所名誉会頭	永澤 弘夫
(株)ファーストインターナショナル取締役GM	吉田 悦子

教育研究評議会評議員	
学長	佐藤 敬
理事(企画担当)・副学長	吉澤 篤
理事(総務担当)・副学長・事務局長	加藤 健
理事(教育担当)・副学長	伊藤 成治
理事(研究担当)・副学長	郡 千寿子
理事(社会連携担当)・副学長	大河原 隆
副学長	柏倉 幾郎
副学長	作花 文雄
人文社会科学部長	今井 正浩
教育学部長	戸塚 学
農学生命科学部長	佐々木 長市
大学院医学研究科長	若林 孝一
大学院保健学研究科長	木田 和幸
大学院理工学研究科長	加藤 博雄
医学部附属病院長	福田 眞作
人文社会・教育学系長	今井 正浩
医学系長	若林 孝一
自然科学系長	加藤 博雄
地域イノベーション学系長	北原 啓司
大学院地域社会研究科長	北原 啓司
北日本新エネルギー研究所長	村岡 洋文
白神自然環境研究所長	檜垣 大助
被ばく医療総合研究所長	山田 正俊
食料科学研究所長	嵯峨 直恒
附属図書館長事務取扱	郡 千寿子
国際連携本部長	杉原 かおり

評価室	
室長	吉澤 篤

法人内部監査室	
室長	稲村 隆夫

苦情処理室	
農学生命科学部教授	鈴木 裕之
大学院地域社会研究科長	北原 啓司
大学院医学研究科長	若林 孝一
医学部附属病院経営企画課長	太田 修造
総務部人事課課長補佐	三上 伸悦

男女共同参画推進室	
室長	日景 弥生

人文社会科学部	
学部長	今井 正浩

教育学部	
学部長	戸塚 学
附属教育実践総合センター長	大高明 史
附属教員養成学術研究開発センター長	福島 裕敏
附属教員免許状更新講習支援室長	長南 幸安
附属幼稚園長	小玉 正志
附属小学校長	田中 完
附属中学校長	篠塚 明彦
附属特別支援学校長	岩井 康頼

大学院医学研究科	
研究科長	若林 孝一
附属脳神経血管病態研究施設長	東海林 幹夫
附属高度先進医学研究センター長	伊東 健
附属動物実験施設長	上野 伸哉
附属子どものこころの発達研究センター長	中村 和彦

大学院保健学研究科	
研究科長	木田 和幸

医学部附属病院	
病院長	福田 眞作

大学院理工学研究科	
研究科長	加藤 博雄
附属地震火山観測所長	小菅 正裕
附属医用システム創造フロンティアセンター長	笹川 和彦

農学生命科学部	
学部長	佐々木 長市
附属生物共生教育研究センター長	松崎 正敏
附属遺伝子実験施設長	姫野 依太

大学院地域社会研究科	
研究科長	北原 啓司

附置研究所	
北日本新エネルギー研究所長	村岡 洋文
白神自然環境研究所長	檜垣 大助
被ばく医療総合研究所長	山田 正俊
食料科学研究所長	嵯峨 直恒

学内共同教育研究施設等	
総合情報処理センター長	葛西 真寿
生涯学習教育研究センター長	曾我 亨
保健管理センター所長	高梨 信吾
アイソトープ総合実験室長	床次 眞司
機器分析センター長	岡崎 雅明
出版会編集長	足達 薫
資料館長	須藤 弘敏
COC 推進本部長	佐藤 敬
ボランティアセンター長	大河原 隆
国際連携本部長	杉原 かおり

附属図書館・医学部分館	
館長事務取扱	郡 千寿子
医学部分館長	今泉 忠淳

教育研究院	
人文社会・教育学系長	今井 正浩
医学系長	若林 孝一
自然科学系長	加藤 博雄
地域イノベーション学系長	北原 啓司

■教職員数

学長・理事・監事等	学 長			理事・副学長			監 事			学長特別補佐			副理事			総 計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
	1	1	-	7	6	1	2	1	1	6	5	1	5	5	-	21	18	3

★は非常勤で内数

★1

★4

★2

※副学長、学長特別補佐、副理事については併任の者を含む

区 分	教授			准教授			講 師			助 教			助 手			附属学校 教員			小 計			事務職員技術 職員等			総 計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
現 員	218	195	23	196	163	33	118	89	29	203	155	48	54	34	20	98	45	53	887	681	206	1,065	357	708	1,952	1,038	914
事務局	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	169	118	51	169	118	51
人文社会科学部	31	24	7	30	23	7	13	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	58	16	8	4	4	82	62	20
教育学部	43	36	7	26	21	5	18	11	7	-	-	-	1	-	1	98	45	53	186	113	73	15	11	4	201	124	77
大学院医学研究科	36	36	-	29	27	2	21	20	1	71	54	17	18	11	7	-	-	-	175	148	27	18	11	7	193	159	34
大学院保健学 研究科	28	19	9	14	7	7	22	14	8	23	13	10	6	2	4	-	-	-	93	55	38	8	7	1	101	62	39
医学部附属病院	-	-	-	10	9	1	34	27	7	64	49	15	28	20	8	-	-	-	136	105	31	774	159	615	910	264	646
大学院理工学 研究科	40	40	-	38	35	3	3	3	-	17	16	1	1	1	-	-	-	-	99	95	4	23	15	8	122	110	12
農学生命科学部	26	26	-	32	28	4	-	-	-	15	14	1	-	-	-	-	-	-	73	68	5	23	18	5	96	86	10
大学院地域社会 研究科	1	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	3	3	-
北日本新エネルギー 研究所	4	4	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8	-	-	-	-	8	8	-
白神自然環境 研究所	1	1	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	3	3	-
被ばく医療総合 研究所	3	3	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	6	6	-	3	3	-	9	9	-
食料科学研究所	1	1	-	2	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	4	3	1	-	-	-	4	3	1
生涯学習教育 研究センター	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-
保健管理センター	1	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	2	-	2	5	1	4
アイントープ総合 実験室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1
附属図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	7	10	17	7	10
国際連携本部	-	-	-	4	2	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	5	2	3	-	-	-	5	2	3
教育推進機構	1	1	-	2	1	1	3	1	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	8	5	3	-	-	-	8	5	3
研究・イノベーション 推進機構	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-
COI研究推進機構	1	1	-	1	1	-	2	1	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	6	4	2	-	-	-	6	4	2
青森キャンパス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	4	4	-
COC推進室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	2	2	-
男女共同参画 推進室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	1

※事務局にはCOC推進室、学長戦略室、国際連携本部及び法人内部監査室の事務職員を含む



■学部

学 部	学科・課程	入学定員	入学志願者				入学者数		
			男	女	計	倍率	男	女	計
人文社会科学部		265	516	419	935	3.53	136	133	269
教 育 学 部		170	223	323	546	3.21	78	101	179
医 学 部	医 学 科	112	333	286	619	5.53	50	62	112
	保 健 学 科	200	145	342	487	2.44	68	135	203
	小 計	312	478	628	1,106	3.54	118	197	315
理 工 学 部		360	873	177	1,050	2.92	307	56	363
農学生命科学部		215	484	335	819	3.81	130	87	217
計		1,322	2,574	1,882	4,456	3.37	769	574	1,343

※私費外国人留学生入試は除く。

■大学院

学 部	課 程	入学定員	入学志願者				入学者数		
			男	女	計	倍率	男	女	計
人文社会科学研究科	修士課程	16	4	9	13	0.81	2	9	11
教育学研究科	修士課程	16	9	17	26	1.63	5	16	21
	専門職学位課程	16	12	7	19	1.19	11	7	18
医学研究科	博士課程	60	38	22	60	1.00	37	22	59
保健学研究科	博士前期課程	30	21	17	38	1.27	17	15	32
	博士後期課程	12	4	6	10	0.83	4	6	10
理工学研究科	博士前期課程	120	105	12	117	0.98	93	12	105
	博士後期課程	12	6	1	7	0.58	6	1	7
農学生命科学研究科	修士課程	60	34	17	51	0.85	32	16	48
地域社会研究科	博士後期課程	6	5	6	11	1.83	4	5	9
計		348	238	114	352	1.01	211	109	320

※私費外国人留学生特別選抜は除く。

■2年次編入学

学 部	学 科	入学定員	入学志願者				入学者数		
			男	女	計	倍率	男	女	計
医学部	医 学 科	20	74	31	105	5.25	15	5	20

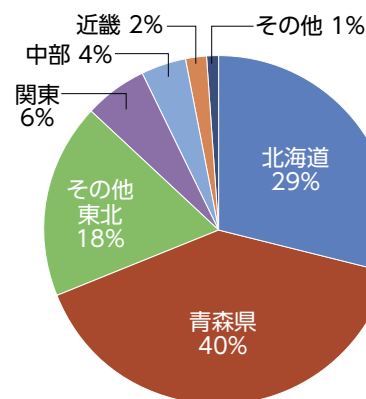
■3年次編入学

学 部	学 科	入学定員	入学志願者				入学者数		
			男	女	計	倍率	男	女	計
医学部	保 健 学 科	30	2	13	15	0.50	0	1	1
理 工 学 部		10	10	2	12	1.20	3	2	5
農学生命科学部		*若干名	15	5	20	-	3	1	4

*は、定員外の募集人員を表す

■入学者の出身地 (平成29年度)

区 分	入学者数	出 身 地						
		北海道	青森県	その他東北	関東	中部	近畿	その他
人文社会科学部	269	89	123	45	7	5	0	0
教育学部	179	28	86	43	13	7	0	2
医学部医学科	112	7	48	19	24	8	6	0
医学部保健学科	203	57	73	56	6	8	2	1
理工学部	363	150	146	47	8	7	5	0
農学生命科学部	217	63	66	36	27	12	8	5
計	1,343	394	542	246	85	47	21	8



■学部学生数

学部	学科・課程	入学定員	第2年次編入	第3年次編入	収容定員	現 員																		総計
						1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			
						計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
人文社会科学学部	文化創生課程	110	-	-	220	113	40	73	109	46	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	222	
	社会経営課程	155	-	-	310	158	97	61	165	97	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	323	
	計	265	-	-	530	271	137	134	274	143	131	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	545	
人文学部	人間文化課程	-	-	-	230	-	-	-	-	-	-	112	49	63	129	55	74	-	-	-	-	-	241	
	現代社会課程	-	-	-	220	-	-	-	-	-	-	115	52	63	132	62	70	-	-	-	-	-	247	
	経済経営課程	-	-	-	240	-	-	-	-	-	-	127	93	34	144	100	44	-	-	-	-	-	271	
	計	-	-	-	690	-	-	-	-	-	-	354	194	160	405	217	188	-	-	-	-	-	759	
教育学部	学校教育教員養成課程	150	-	-	590	159	78	81	154	81	73	140	72	68	166	83	83	-	-	-	-	-	619	
	養護教諭養成課程	20	-	-	90	20	-	20	21	-	21	26	-	26	27	-	27	-	-	-	-	-	94	
	生涯教育課程	-	-	-	140	-	-	-	-	-	-	78	30	48	87	41	46	-	-	-	-	-	165	
	計	170	-	-	820	179	78	101	175	81	94	244	102	142	280	124	156	-	-	-	-	-	878	
医学部	医学科	112	20	-	760	114	52	62	162	104	58	132	87	45	126	85	41	118	76	42	136	86	50	788
	保健学科	200	-	30	860	204	69	135	202	64	138	200	66	134	222	76	146	-	-	-	-	-	828	
	計	312	20	30	1,620	318	121	197	364	168	196	332	153	179	348	161	187	118	76	42	136	86	50	1,616
理工学部	数物科学科	78	-	-	156	78	70	8	79	65	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	157	
	物質創成化学科	52	-	-	196	52	37	15	52	41	11	45	38	7	49	37	12	-	-	-	-	-	198	
	地球環境防災学科	65	-	-	130	66	49	17	66	50	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	132	
	電子情報工学科	55	-	-	226	59	57	2	56	50	6	56	52	4	65	62	3	-	-	-	-	-	236	
	機械科学科	80	-	-	160	81	72	9	79	75	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160	
	自然エネルギー学科	30	-	-	60	30	25	5	32	24	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	
	数理科学科	-	-	-	80	-	-	-	-	-	-	39	38	1	44	38	6	-	-	-	-	-	-	83
	物理科学科	-	-	-	80	-	-	-	-	-	-	39	36	3	44	41	3	-	-	-	-	-	-	83
	地球環境学科	-	-	-	116	-	-	-	-	-	-	58	34	24	64	45	19	-	-	-	-	-	-	122
	知能機械工学科	-	-	-	116	-	-	-	-	-	-	56	50	6	63	55	8	-	-	-	-	-	-	119
	学部共通	-	-	10	20	-	-	-	-	-	-	5	3	2	4	4	-	-	-	-	-	-	-	9
計	360	-	10	1,340	366	310	56	364	305	59	298	251	47	333	282	51	-	-	-	-	-	-	1,361	
農学生命科学部	生物学科	40	-	-	160	41	26	15	38	30	8	44	28	16	49	26	23	-	-	-	-	-	172	
	分子生命科学科	40	-	-	160	41	25	16	38	19	19	41	24	17	51	31	20	-	-	-	-	-	171	
	食料資源学科	55	-	-	110	56	31	25	55	28	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	111	
	国際園芸農学科	50	-	-	100	51	22	29	51	21	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	102	
	地域環境工学科	30	-	-	120	31	26	5	30	25	5	28	18	10	32	24	8	-	-	-	-	-	121	
	生物資源学科	-	-	-	70	-	-	-	-	-	-	36	23	13	36	23	13	-	-	-	-	-	-	72
	園芸農学科	-	-	-	80	-	-	-	-	-	-	40	22	18	47	26	21	-	-	-	-	-	-	87
計	215	-	-	800	220	130	90	212	123	89	189	115	74	215	130	85	-	-	-	-	-	-	836	
合計	1,322	20	40	5,800	1,354	776	578	1,389	820	569	1,417	815	602	1,581	914	667	118	76	42	136	86	50	5,995	



大学院学生数

研究科	課 程	専 攻	入学定員	収容定員	現 員														
					1年次			2年次			3年次			4年次			総計		
					計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
人文社会科学 研究科	修 士	文化科学専攻	10	20	11	1	10	15	6	9	-	-	-	-	-	-	26	7	19
		応用社会科学専攻	6	12	7	2	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	8	3	5
		計	16	32	18	3	15	16	7	9	-	-	-	-	-	-	34	10	24
教育学研究科	修 士	学校教育専攻	16	22	21	5	16	9	2	7	-	-	-	-	-	-	30	7	23
		教科教育専攻	-	23	-	-	-	29	15	14	-	-	-	-	-	-	29	15	14
		養護教育専攻	-	3	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	3	-	3
		計	16	48	21	5	16	41	17	24	-	-	-	-	-	-	62	22	40
	専門職学位	教職実践専攻	16	16	18	11	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	11	7
医学研究科	博 士	医科学専攻	60	220	61	38	23	67	49	18	47	32	15	71	47	24	246	166	80
保健学研究科	博士前期	保健学専攻	30	60	32	17	15	49	35	14	-	-	-	-	-	-	81	52	29
	博士後期	保健学専攻	12	33	10	4	6	12	5	7	18	9	9	-	-	-	40	18	22
理工学研究科	博士前期	理工学専攻	120	240	106	94	12	121	105	16	-	-	-	-	-	-	227	199	28
		機能創成科学専攻	6	16	2	2	-	4	3	1	5	1	4	-	-	-	11	6	5
	博士後期	安全システム工学専攻	6	16	6	5	1	4	4	-	6	6	-	-	-	-	16	15	1
		計	12	32	8	7	1	8	7	1	11	7	4	-	-	-	27	21	6
農学生命科学研究科	修 士	農学生命科学専攻	60	120	57	35	22	35	23	12	-	-	-	-	-	-	92	58	34
地域社会研究科	博士後期	地域社会専攻	6	18	9	4	5	6	5	1	21	16	5	-	-	-	36	25	11
総 計			348	819	340	218	122	355	253	102	97	64	33	71	47	24	863	582	281

岩手大学大学院連合農学研究科(博士後期課程) ※現員は弘前大学(指導教員)に属する学生数

研究科	課 程	入学定員	収容定員	現 員														
				1年次			2年次			3年次			4年次			計		
				計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
連合農学研究科	博士後期	32	96	4	3	1	9	6	3	13	11	2	-	-	-	26	20	6

■教育学部附属学校

区 分	総定員	学級数	現 員								
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計		
附属幼稚園	90	4	(3才児) 19		(4才児) 27		(5才児) 29			75	
附属小学校	642	21	84	103	90	83	102	90	552		
附属中学校	495	15	161	161	164	-	-	-	486		
附属特別支援学校	小学部	18	3	(低学年) 5		(中学年) 5		(高学年) 5			15
	中学部	18	3	3	6	6	-	-	-	15	
	高等部	24	3	8	8	8	-	-	-	24	
合 計	1,287									1,167	



■学部卒業者数

学部	平成28年度	累計
人文学部	341	12,805
教育学部	4年課程	243
	2年課程	—
	計	243
医学部医学科	121	5,993
医学部保健学科	196	2,721
理学部	—	5,112
理工学部	292	4,604
農学部	—	4,541
農学生命科学部	184	2,939
文理学部	—	1,392
合計	1,377	58,928

※文理学部・・・昭和40年4月 人文学部、理学部に改組

※理学部・農学部・・・平成9年10月 理工学部、農学生命科学部に改組

■大学院研究科修了者数

研究科		平成28年度	累計
人文科学研究科	修士課程	—	111
人文社会科学研究科	修士課程	23	215
教育学研究科	修士課程	29	701
医学研究科	博士課程	40	1,989
医学系研究科	修士課程	—	54
保健学研究科	博士前期課程	26	207
	博士後期課程	12	70
理学研究科	修士課程	—	844
理工学研究科	修士課程	—	153
理工学研究科	博士前期課程	89	1,067
	博士後期課程	8	58
農学研究科	修士課程	—	435
農学生命科学研究科	修士課程	31	634
地域社会研究科	博士後期課程	4	33
合計		262	6,571

※人文科学研究科(修士課程)・・・平成11年4月 人文社会科学研究科(修士課程)に改組

※理学研究科(修士課程)・・・平成14年4月 理工学研究科(修士課程)に改組

※農学研究科(修士課程)・・・平成14年4月 農学生命科学研究科(修士課程)に改組

※理工学研究科(修士課程)・・・平成16年4月 理工学研究科(博士前期課程)に改組

■専攻科

人文学専攻科 (平成11年3月廃止)	41
教育専攻科 (平成16年3月廃止)	100
理学専攻科 (昭和53年3月廃止)	70
農学専攻科 (昭和46年3月廃止)	28

■医療技術短期大学部

学科 (平成16年3月廃止)	4,615
専攻科 (平成16年3月廃止)	548

学位授与者数

平成28年度

■修士

専攻分野	平成28年度	累計
文学	—	111
人文社会科学	23	215
教育学	29	701
看護又は保健学	26	261
理学	—	844
理工学	89	1,220
農学	—	435
農学生命科学	31	634
合計	198	4,421

■博士

専攻分野	課程修了		論文審査		旧制
	平成28年度	累計	平成28年度	累計	累計
医学	40	1,989	2	886	469
保健学	12	70	—	2	—
理学又は工学	8	59	—	—	—
学術	4	36	—	5	—
合計	64	2,154	2	893	469



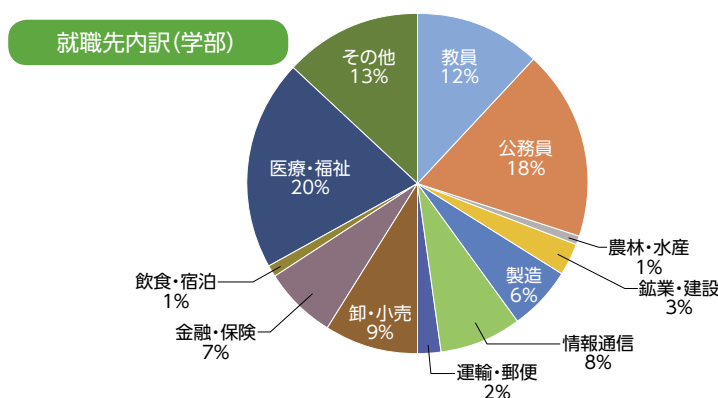
平成28年度 卒業・修了者 進路状況 (平成29年5月1日現在)

学部		卒業者数	就職希望者数(A)	就職者数(B)	就職率(B/A)(%)	未就職者数	進学者数	臨床研修医数	その他
人文学部	男	182	167	162	97.0	5	3	-	12
	女	159	139	135	97.1	4	7	-	13
	計	341	306	297	97.1	9	10	-	25
教育学部	男	98	61	61	100.0	-	14	-	23
	女	145	124	122	98.4	2	8	-	13
	計	243	185	183	98.9	2	22	-	36
医学部・医学科	男	87	-	-	-	-	-	80	7
	女	34	-	-	-	-	-	29	5
	計	121	-	-	-	-	-	109	12
医学部・保健学科	男	67	55	55	100.0	-	11	-	1
	女	129	120	120	100.0	-	7	-	2
	計	196	175	175	100.0	-	18	-	3
理工学部	男	245	140	138	98.6	2	97	-	8
	女	47	30	30	100.0	-	15	-	2
	計	292	170	168	98.8	2	112	-	10
農学生命科学部	男	118	70	69	98.6	1	41	-	7
	女	66	42	42	100.0	-	22	-	2
	計	184	112	111	99.1	1	63	-	9
計	男	797	493	485	98.4	8	166	80	58
	女	580	455	449	98.7	6	59	29	37
	計	1,377	948	934	98.5	14	225	109	95

大学院		修了者数	就職希望者数(A)	就職者数(B)	就職率(B/A)(%)	未就職者数	進学者数	臨床研修医数	その他
人文社会科学研究科(修士課程)	男	10	7	6	85.7	1	-	-	3
	女	13	8	7	87.5	1	-	-	5
	計	23	15	13	86.7	2	-	-	8
教育学研究科(修士課程)	男	14	10	9	90.0	1	1	-	3
	女	15	10	10	100.0	-	1	-	4
	計	29	20	19	95.0	1	2	-	7
医学研究科(博士課程)	男	24	24	24	100.0	-	-	-	-
	女	16	16	14	87.5	2	-	-	-
	計	40	40	38	95.0	2	-	-	-
保健学研究科(博士前期課程)	男	13	10	10	100.0	-	3	-	-
	女	13	11	11	100.0	-	2	-	-
	計	26	21	21	100.0	-	5	-	-
保健学研究科(博士後期課程)	男	6	6	6	100.0	-	-	-	-
	女	6	6	6	100.0	-	-	-	-
	計	12	12	12	100.0	-	-	-	-
理工学研究科(博士前期課程)	男	77	72	70	97.2	2	3	-	2
	女	12	10	10	100.0	-	2	-	-
	計	89	82	80	97.6	2	5	-	2
理工学研究科(博士後期課程)	男	7	6	6	100.0	-	-	-	1
	女	1	-	-	-	-	-	-	1
	計	8	6	6	100.0	-	-	-	2
農学生命科学研究科(修士課程)	男	18	14	13	92.9	1	1	-	3
	女	13	13	11	84.6	2	-	-	-
	計	31	27	24	88.9	3	1	-	3
地域社会研究科(博士後期課程)	男	2	2	2	100.0	-	-	-	-
	女	2	1	1	100.0	-	-	-	1
	計	4	3	3	100.0	-	-	-	1
計	男	171	151	146	96.7	5	8	-	12
	女	91	75	70	93.3	5	5	-	11
	計	262	226	216	95.6	10	13	-	23

卒業後の状況 2016年度(平成28年度) 学部卒業生

	進学者	教員	公務員	臨床研修医	産業別就職者											左記以外	計
					農林・水産	鉱業・建設	製造	情報通信	運輸・郵便	卸・小売	金融・保険	飲食・宿泊	医療・福祉	その他			
人文学部	10	-	78	-	-	8	26	28	16	45	41	6	3	46	34	341	
教育学部	22	96	28	-	-	-	3	3	2	13	9	2	5	22	38	243	
医学部医学科	-	-	-	109	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	121	
医学部保健学科	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	175	-	3	196	
理工学部	112	10	32	-	-	9	23	35	2	12	8	3	2	32	12	292	
農学生命科学部	63	3	30	-	5	13	7	7	3	12	4	2	2	23	10	184	
合計	225	109	168	109	5	30	59	73	23	82	62	13	187	123	1,377		



		学生数 (A)	奨学生数			比率 (B) / (A) %
			第一種	第二種	計(B)	
学部	人 文 社 会 科 学 部	276	96	71	167	60.5
	人 文 学 部	1,106	345	304	649	58.7
	教 育 学 部	941	304	236	540	57.4
	医 学 部 医 学 科	777	165	176	341	43.9
	医 学 部 保 健 学 科	821	300	242	542	66.0
	理 工 学 部	1,301	415	349	764	58.7
	農 学 生 命 科 学 部	806	216	191	407	50.5
	(計)	6,028	1,841	1,569	3,410	56.6
大学院	人 文 社 会 科 学 研 究 科	43	3	2	5	11.6
	教 育 学 研 究 科	73	25	2	27	37.0
	医 学 研 究 科 (医 科 学)	227	1	1	2	0.9
	保 健 学 研 究 科 (博 士 前 期 課 程)	77	14	3	17	22.1
	保 健 学 研 究 科 (博 士 後 期 課 程)	42	3	—	3	7.1
	理 工 学 研 究 科 (博 士 前 期 課 程)	211	90	27	117	55.5
	理 工 学 研 究 科 (博 士 後 期 課 程)	31	4	—	4	12.9
	農 学 生 命 科 学 研 究 科	78	21	2	23	29.5
	地 域 社 会 研 究 科	35	5	1	6	17.1
	(計)	817	166	38	204	25.0
総 計		6,845	2,007	1,607	3,614	52.8

外国人留学生数

平成29年5月1日現在

区分		学部等		国・地域名														計				
				中国	台湾	大韓民国	タイ	マレーシア	シンガポール	インドネシア	ベトナム	モンゴル	ミャンマー	バングラデシュ	アメリカ	フランス	ドイツ		ハンガリー	ニュージーランド	アルジェリア	エチオピア
学部留学生	私費正規留学生	人文学部	10	1	1		2													14		
		人文社会科学部	1		1		2														4	
		教育学部	1																		1	
		医学部医学科	1									1									2	
		医学部保健学科	2	1																	3	
		理工学部	5			1	1														7	
		農学生命科学部	1				1			3											5	
	私費研究生	人文社会科学部	6																		6	
		医学部保健学科	1																		1	
		理工学部	1																		1	
	科目等履修生・聴講生	人文社会科学部	11		5	1								3	5	2	1	4			32	
		教育学部	2		1	1															4	
		理工学部	2											1							3	
農学生命科学部		1																		1		
国費日本語・日本文化研修留学生	人文社会科学部				1															1		
大学院留学生	国費正規留学生	医学研究科														1				1		
		理工学研究科				1		2										2			5	
	私費正規留学生	人文社会科学研究科	10				1														11	
		教育学研究科	4																			4
		医学研究科	11																			11
		保健学研究科	2					1														3
		理工学研究科	7	1		1	2															11
		農学生命科学研究科	10							1	1											12
		地域社会研究科	3																			3
	連合農学研究科	5						1	1			1							1		9	
特別研究生	理工学研究科	1																			1	
合計			98	3	8	6	9	1	3	5	1	1	1	3	6	2	2	4	2	1	156	

大学間(37大学)／部局間協定(18大学等)

平成29年(2017年)5月2日現在

国・地域	大学名	協定締結日	備考
北米・南米			
アメリカ合衆国	テネシー大学マーチン校	1980年 7月 8日	大学間協定
	メイン州立大学	1997年 6月26日	//
	サンディエゴ州立大学	2001年 3月19日	//
	テネシー大学保健科学センター	1982年 5月19日	(医学研究科)
	サウスカロライナ大学	1994年 7月20日	(教育学部)
	メイン州立大学メーン潮力発電イニシアティブ	2012年 3月19日	(北日本新エネルギー研究所)
カナダ	サスカチュワン大学	2001年12月 7日	大学間協定
	マウント・ロイヤル大学	2005年 6月 1日	//
	トンプソン・リバーズ大学	2006年10月19日	//
チリ共和国	ラ・フロンテラ大学	2002年 6月25日	大学間協定
メキシコ合衆国	オアハカ州立自治ベニートファレス大学	2016年 5月13日	大学間協定
ジャマイカ	西インド大学	2002年 2月25日	(医学研究科)
ヨーロッパ			
フランス共和国	ボルドー・モンテーニュ大学	1994年 1月31日	大学間協定
ロシア連邦	国立極東総合医科大学	1995年12月14日	大学間協定
	ロモノソフ・モスクワ大学	2000年 9月20日	//
	イルクーツク大学	2002年 3月20日	//
	ロシア科学アカデミー極東支部ウラジオストク植物園研究所	2015年 2月20日	(白神自然環境研究所)
ルーマニア	ヒッペリオン大学	1998年 9月11日	大学間協定
ドイツ連邦共和国	トリア大学	1999年 5月 3日	大学間協定
ハンガリー共和国	デブレゼン大学	2000年12月22日	大学間協定
	パノニア大学工学部放射化学・放射生態学研究所	2013年 3月18日	(被ばく医療総合研究所)
スロベニア共和国	リュブリャナ大学医学部	2014年11月28日	(医学研究科)
スウェーデン王国	ストックホルム大学放射線防護研究センター	2013年 3月 6日	(保健学研究科)
フィンランド共和国	ヘルシンキ大学ルラリア研究所	2009年 9月 7日	(人文社会科学部)
オセアニア			
ニュージーランド	オタゴ大学	2000年 9月20日	大学間協定
	オークランド工科大学	2001年12月12日	//
東アジア			
中華人民共和国	哈爾濱師範大学	1995年 8月 1日	大学間協定
	延辺大学	2000年 8月28日	//
	鄭州大学	2000年10月12日	//
	大連理工大学	2009年12月28日	//
	新疆工程学院	2016年 9月23日	//
	青島農業大学	2016年12月26日	//
	太原理工大学	2017年 4月19日	//
	中国医科大学	2005年10月25日	(医学研究科)
	中国衡陽師範学院物理・情報科学部	2014年11月11日	(被ばく医療総合研究所)
	中国瀋陽農業大学園芸学院	2015年11月 3日	(農学生命科学部)
	輻射防護研究所	2016年 5月 2日	(被ばく医療総合研究所)
	四川大学化学工学院	2016年 6月 8日	(北日本新エネルギー研究所)
	大韓民国	南ソウル大学校	2001年 6月 1日
慶北大学校		2001年 7月11日	//
釜山大学校		2001年12月12日	//
京畿大学校		2002年 9月25日	//
韓国放射線医学研究所緊急被ばく医療センター		2013年 1月21日	(被ばく医療総合研究所)
東南圏原子力医学院		2016年 6月14日	(被ばく医療総合研究所)

*備考欄に部局名が記載されている協定は部局間協定を示す。



台湾	国立高雄大学	2016年11月17日	大学間協定
	開南大学	2016年11月18日	//
東南アジア			
タイ王国	チェンマイ大学	2000年11月 2日	大学間協定
	コンケン大学	2008年 5月 6日	//
	タマサート大学	2017年 4月14日	//
	カセサート大学農学部	2015年 3月27日	(農学生命科学部)
	チュロンコン大学工学部原子核工学科	2013年11月20日	(被ばく医療総合研究所)
マレーシア	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	2017年 4月11日	大学間協定
インドネシア共和国	バンドン工科大学	2017年 5月 2日	大学間協定
ベトナム社会主義共和国	ベトナム原子力研究所原子力科学技術研究所	2013年11月22日	(被ばく医療総合研究所)
フィリピン共和国	フィリピン原子力研究所	2015年 6月30日	//
中央アジア			
ウズベキスタン共和国	タシュケント州立農科大学	2016年 9月19日	大学間協定
	サマルカンド農業学院	2016年 9月22日	//

*備考欄に部局名が記載されている協定は部局間協定を示す。

協定締結校を含めた海外大学等との国際交流を通じて、学術交流、人材交流等を推進するため、海外拠点事務所では、以下の業務を行っています。

1. 優秀な留学生確保のための業務(本学のPR活動、留学希望者の問合せ対応)
2. 本学からの派遣留学生への支援活動
3. 本学での留学経験を有する卒業生・修了生との連携、ネットワーク形成支援
4. 拠点設置国の教育研究機関との学術交流支援(情報収集・提供・調整等)
5. その他本学の国際化

(1)大連事務所 【中華人民共和国】

- 設置時期／平成24年7月13日
- 設置場所／大連理工大学エネルギー研究院内



(2)コンケン事務所 【タイ王国】

- 設置時期／平成24年12月14日
- 設置場所／コンケン大学人文社会学部 Rattana Pittaya Building 内



(3)延辺事務所 【中華人民共和国】

- 設置時期／平成25年10月15日
- 設置場所／延辺大学国際交流合作処内



国際連携本部

- 設置時期／平成25年4月

国際連携本部は、本学の国際化推進に係る施策の企画立案等を行い、大学間協定校等との交流を通じ、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的としています。平成28年10月、国際教育センターを統合し、本学学生への留学支援、外国人留学生の受け入れ支援のための教育、助言、地域の国際交流支援などを行っています。



国内機関との連携・協力協定

弘前大学では、社会連携ポリシーを策定し、これに基づき積極的に社会との連携、地域への貢献を進めることとしており、その一環として、自治体、企業等との連携に関する協定を締結しています。

また、その他にも生涯学習事業、産学官連携による共同研究など、多様な取組を実施しています。

【大学間協定】

平成29年5月15日現在

	協定締結日	協 定 先	協力事項
自治体	2017 (H29)年 5月15日	青森県北津軽郡板柳町	地域産業の振興、地域文化の振興、健康・医療・福祉、人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、地方創生、その他
	2016 (H28)年 6月17日	青森県平川市	地域産業の振興、地域文化の振興、健康づくり、ひとづくり・人材育成、コミュニティ活動やまちづくり、学校教育・社会教育、学術の調査・研究、その他
	2015 (H27)年 7月 7日	青森県むつ市	地域産業の振興、文化の向上・発展、地域づくり、学術研究、地域人材の育成、地方創生、その他
	2015 (H27)年 6月12日	青森県南津軽郡藤崎町	地域産業の振興、文化の向上・発展、地域づくり、学術研究、地域人材の育成、地方創生、その他
	2015 (H27)年 5月15日	青森県西津軽郡深浦町	地域産業の振興、文化の育成・発展、地域づくり、学術、地域人材の育成、その他
	2015 (H27)年 2月24日	青森県教育委員会	学校教育の充実・振興、社会教育・スポーツの振興、文化・芸術活動、文化財の保護と活用
	2011 (H23)年 9月29日	福島県浪江町	除染を含む環境改善、教育及び人材育成、文化の育成・振興、健康づくり・医療・福祉
	2008 (H20)年12月22日	青森県中津軽郡西目屋村	教育・人材育成、文化の育成・振興、地域づくり、学術、健康づくり・医療・福祉、弘前大学白神自然観察園、その他
	2007 (H19)年 5月 7日	青森県青森市	都市交通、自然・環境、産業振興、健康・医療・福祉、教育・文化、その他
	2006 (H18)年11月25日	青森県	人財、教育・研究、産業・雇用、健康、環境・エネルギー、安全・安心、その他
	2006 (H18)年 9月19日	青森県弘前市	教育、人材育成、文化の育成・振興、産業振興、まちづくり、学術研究、健康・医療・福祉、自然・環境、その他
	2005 (H17)年10月 6日	青森県西津軽郡鱒ヶ沢町	産業振興、文化の育成・発展、まちづくり、人材育成、学術、その他
その他企業等	2016 (H28)年 7月21日	株式会社日本政策金融公庫	地域産業の振興、地方創生、地域振興に資する人材の育成、学術研究、その他産学連携の協力推進
	2016 (H28)年 7月14日	北東北3大学、3銀行(秋田大学、岩手大学、弘前大学、秋田銀行、岩手銀行、青森銀行)	北東北3大学三銀行提携事業「地域TLOネットビックスプラス」の運営による包括提携
	2015 (H27)年11月26日	青森県内8大学1高専、5自治体	「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に係る連携・協力
	2013 (H25)年 7月 2日	青森商工会議所	地域産業の振興、地域活性化(中心市街地活性化等)、産学連携、健康福祉の増進、人材の育成、その他
	2012 (H24)年12月 6日	弘前商工会議所	地場産業の振興、地域活性化、地域支援、産学連携、地域人材の育成
	2009 (H21)年 9月28日	地方独立行政法人青森県産業技術センター	人文科学、社会科学、自然科学の各分野及び研究者等交流
	2008 (H20)年10月 2日	独立行政法人放射線医学総合研究所	職員・学生等の交流、研究情報等の交換、施設及び設備の共同利用、被ばく患者の治療
	2007 (H19)年 8月 7日	サンスター株式会社	共同研究テーマの検討とこれに伴う研究者の交流、連絡協議会の開催、その他研究者の交流
	2007 (H19)年 6月25日	みちのく銀行	地域経済活性化に関する情報交換及び支援、大学の研究成果等に関する情報交換及び支援、地域企業の研究開発ニーズ等の紹介支援、大学発ベンチャー企業に関する情報交換及び支援、その他
	2007 (H19)年 4月25日	青森銀行	地域文化・地域産業の発展・地域の課題に関する情報交換、新技術・新規事業分野・事業化(大学発ベンチャー等)、教育、人材育成、生涯学習、地域経済研究、その他
大学	2013 (H25)年 4月25日	東北地区7国立大学法人	災害時連携協定
	2002 (H14)年 5月22日	北東北国立3大学	単位互換に関する協定
	2003 (H15)年 3月 6日	弘前学院大学	//
	2010 (H22)年11月18日	放送大学	//



【部局間協定】

平成29年5月1日現在

部局名	協定締結日	締結先	協定の形態等
人文社会科学部	2017(H29)年 4月13日	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	連携協力協定
	2016(H28)年 5月24日	特定非営利活動法人青森県消費者協会	//
教育学部	2015(H27)年 3月25日	黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・田舎館村教育委員会	連携協力協定
	2012(H24)年 1月27日	弘前市教育委員会	//
	2008(H20)年11月26日	黒石市教育委員会	教員を目指す学生による教育活動支援
	2008(H20)年 2月 7日	青森県教育委員会	連携協力協定
	2008(H20)年 1月29日	むつ市教育委員会	//
医学研究科	2015(H27)年 3月25日	黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・田舎館村教育委員会	連携協力協定
	2013(H25)年11月14日	弘前市教育委員会	//
理工学研究科	2016(H28)年 3月10日	函館工業高等専門学校	学術交流協定
医学部附属病院	2015(H27)年10月 5日	株式会社ローソン	災害時における物資の調達に関する協定
北日本新エネルギー研究所	2014(H26)年 3月27日	むつ市	連携協力協定
食料科学研究所	2016(H28)年 1月28日	函館短期大学付設調理製菓専門学校、株式会社 fun function	「北日本食の成長戦略」実現に向けた三者連携
	2015(H27)年11月19日	学校法人野又学園函館短期大学付設調理製菓専門学校	連携・協力に関する協定
	2015(H27)年 1月15日	むつ市	連携協力協定
	2014(H26)年12月15日	深浦町、株式会社オカムラ食品工業	サーモン養殖実証事業に関する三者連携協定
	2014(H26)年 7月22日	深浦町	連携協力協定



青森県平川市



青森県北津軽郡板柳町

平成29年度 収入と支出

収入

(単位:千円)

区分	収入額
運営費交付金	10,462,097
自己収入	24,385,277
学生納付金収入	4,190,886
附属病院収入	19,660,141
財産貸付料収入	172,764
農場収入	14,290
処分収入	817
財務収益	7,552
その他の収入	338,827
外部資金収入	2,321,636
施設整備費補助金	87,930
引当金等取崩	533,218
合計	37,790,158

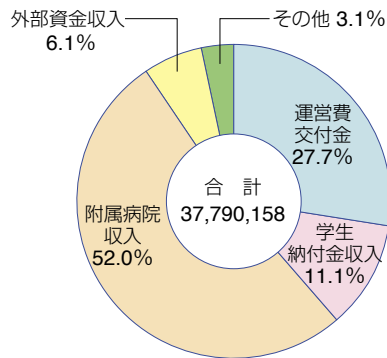
運営費交付金	10,462,097
学生納付金収入	4,190,886
附属病院収入	19,660,141
外部資金収入	2,321,636
その他	1,155,398

支出

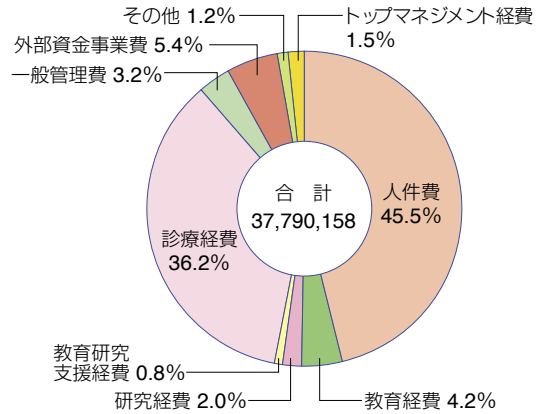
(単位:千円)

区分	収出額
トップマネジメント経費	567,083
人件費	17,186,989
教育経費	1,574,114
研究経費	756,384
教育研究支援経費	302,688
診療経費	13,673,947
一般管理費	1,207,532
外部資金事業費	2,064,145
その他	457,276
合計	37,790,158

収入 (単位:千円)



支出 (単位:千円)

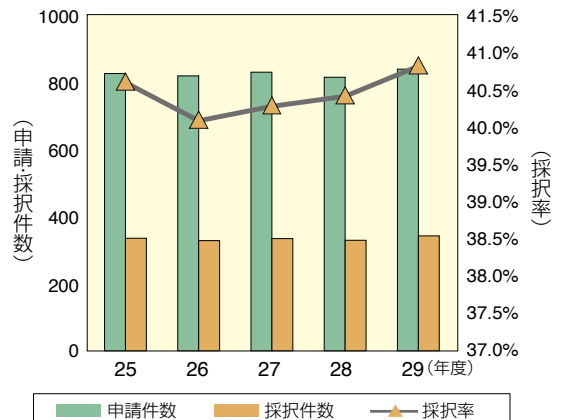


平成29年度科学研究費補助金採択状況

(単位:千円)

研究種目	件数	配分額		
		直接経費	間接経費	計
新学術領域研究	4	23,200	6,960	30,160
基盤研究(S)	1	23,400	7,020	30,420
基盤研究(A)	5	29,300	8,790	38,090
基盤研究(B)	23	89,200	26,760	115,960
基盤研究(C)	191	206,100	61,830	267,930
挑戦的萌芽研究	29	28,000	8,400	36,400
若手研究(A)	3	16,300	4,890	21,190
若手研究(B)	83	73,000	21,900	94,900
研究活動スタート支援	2	1,300	390	1,690
合計	341	489,800	146,940	636,740

科学研究費助成事業申請・採択状況



※件数及び金額は、本学に交付内定通知があったもの。(平成29年5月現在)
 ※基金・一部基金研究種目については、平成29年度当初計画への配分額を計上した。
 ※挑戦的萌芽研究は継続課題のみである。
 (後継種目である挑戦的研究は平成29年7月中旬に内定が出るため、掲載していない)

外部資金受入状況(平成28年度)

部 局 名	民間等との共同研究費		受託研究費		寄附金	
	受入件数 (件)	受入金額 (千円)	受入件数 (件)	受入金額 (千円)	受入件数 (件)	受入金額 (千円)
人 文 社 会 科 学 部	—	—	2	736	5	1,676
教 育 学 部	1	2,000	3	11,864	5	4,300
医 学 研 究 科	12	59,114	25	659,275	526	702,347
保 健 学 研 究 科	1	2,000	4	15,498	22	11,350
医 学 部 附 属 病 院	1	2,721	6	22,826	46	40,091
理 工 学 研 究 科	35	67,247	11	63,142	33	24,495
農 学 生 命 科 学 部	17	14,625	19	34,688	26	16,599
地 域 社 会 研 究 科	—	—	3	7,186	1	800
北日本新エネルギー研究所	—	—	3	11,966	—	—
食 料 科 学 研 究 所	1	15	3	14,786	1	4,000
被ばく医療総合研究所	2	2,881	—	—	1	500
保 健 管 理 セ ン タ ー	—	—	—	—	1	120
附 属 図 書 館	—	—	—	—	3	1,227
事 務 局	—	—	—	—	393	64,447
合 計	70	150,603	79	841,967	1,063	871,952

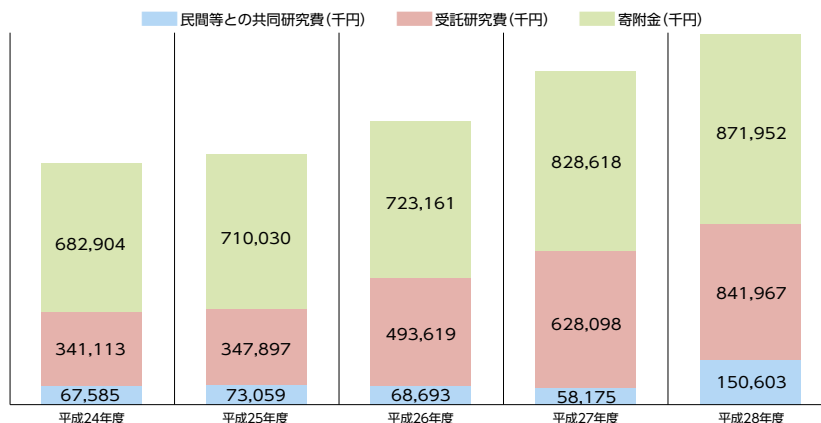
複数年契約を含む

※金額：平成28年度受入額

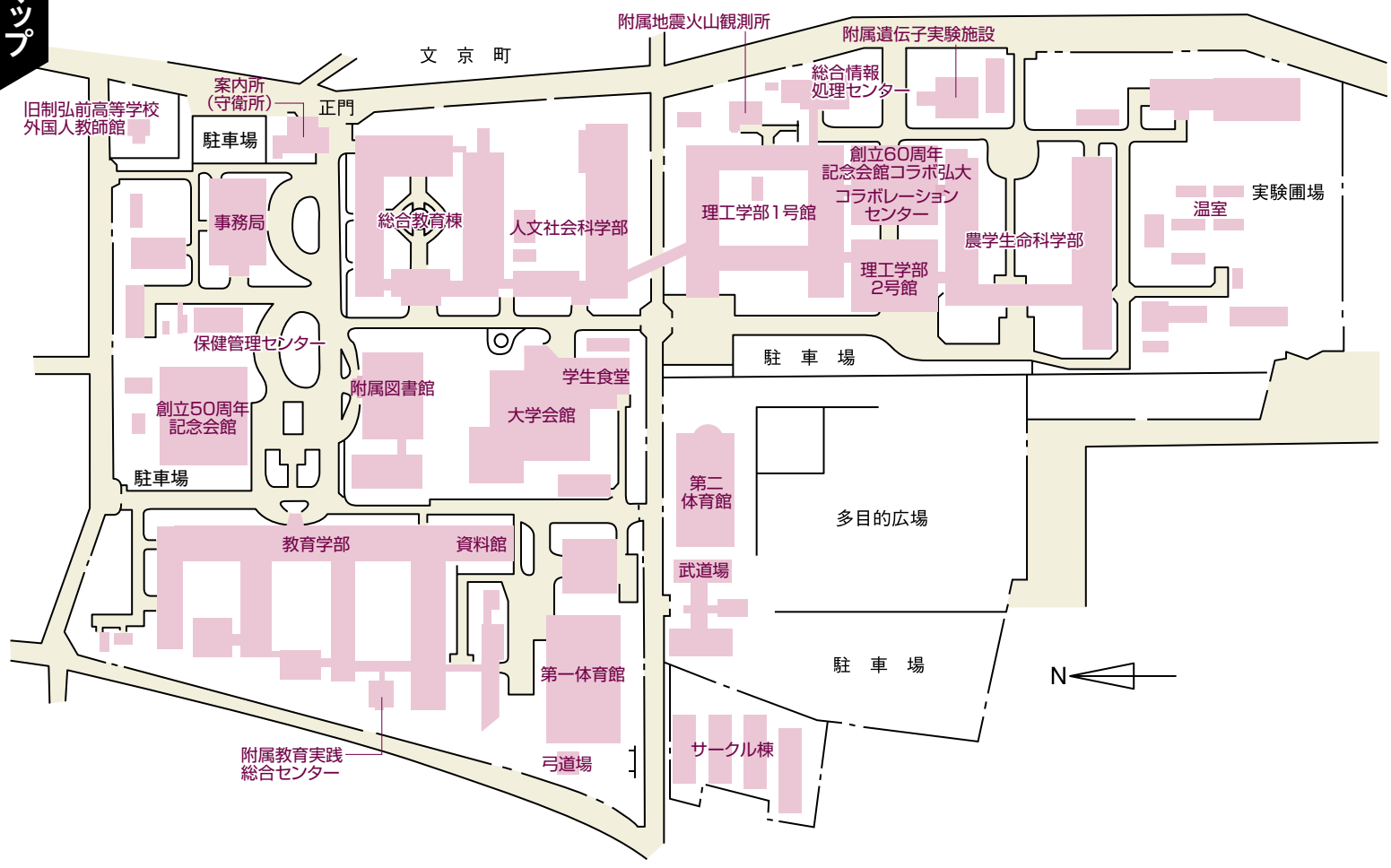
※医学部附属病院の受託研究費には治験を含んでいない。

外部資金受入状況

区 分	民間等との共同研究費		受託研究費		寄附金	
	受入件数 (件)	受入金額 (千円)	受入件数 (件)	受入金額 (千円)	受入件数 (件)	受入金額 (千円)
平成24年度	54	67,585	100	341,113	703	682,904
平成25年度	38	73,059	100	347,897	663	710,030
平成26年度	48	68,693	92	493,619	690	723,161
平成27年度	59	58,175	89	628,098	959	828,618
平成28年度	70	150,603	79	841,967	1,063	871,952



文京町キャンパス

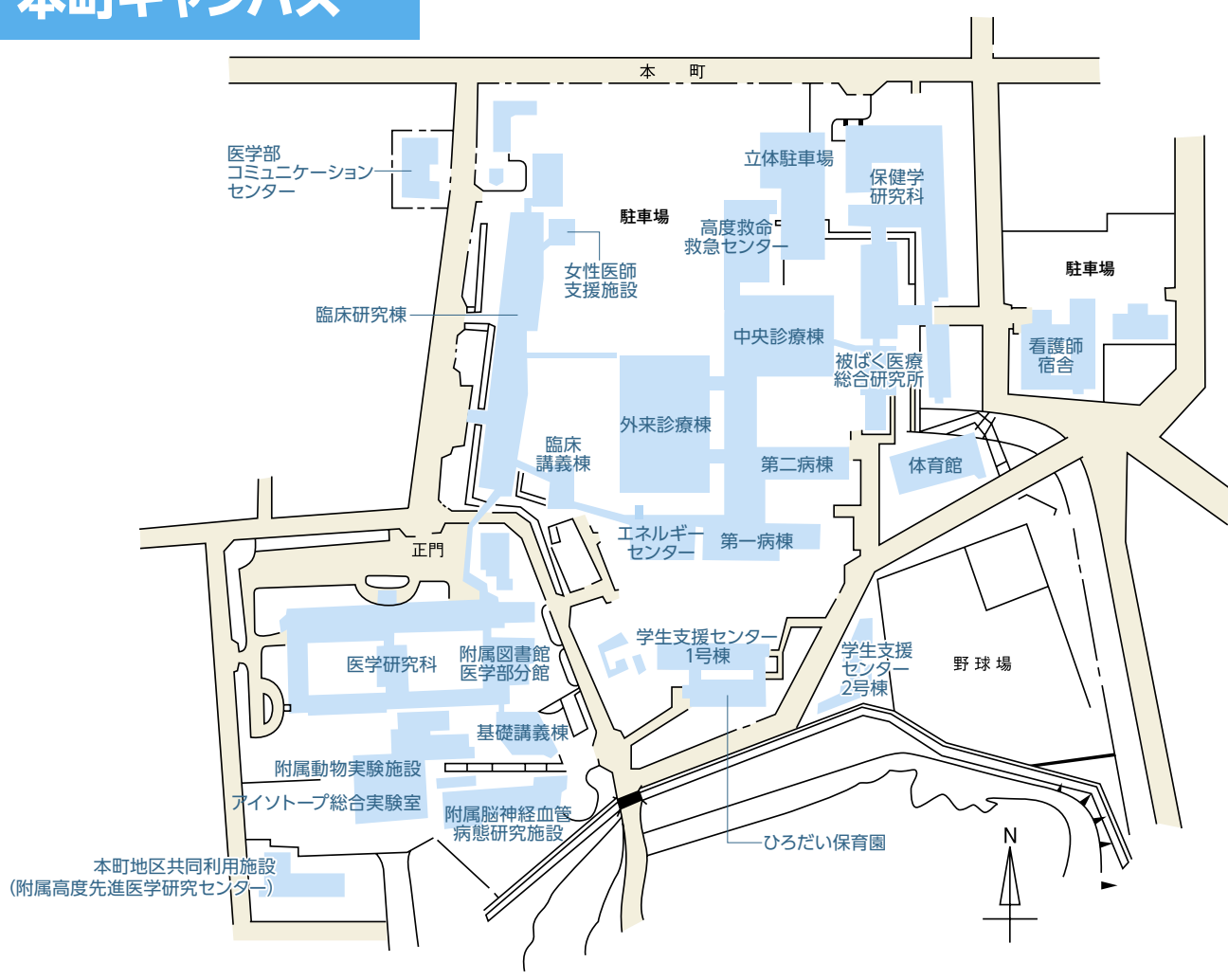


創立60周年記念会館 コラボ弘大



創立60周年記念モニュメント
金工作品「幸せのリング」(宮田亮平前東京藝術大学長、現文化庁長官作)
(創立60周年記念会館コラボ弘大1Fロビー内)

本町キャンパス



高度救命救急センター



医学部附属病院第一病棟及び第二病棟

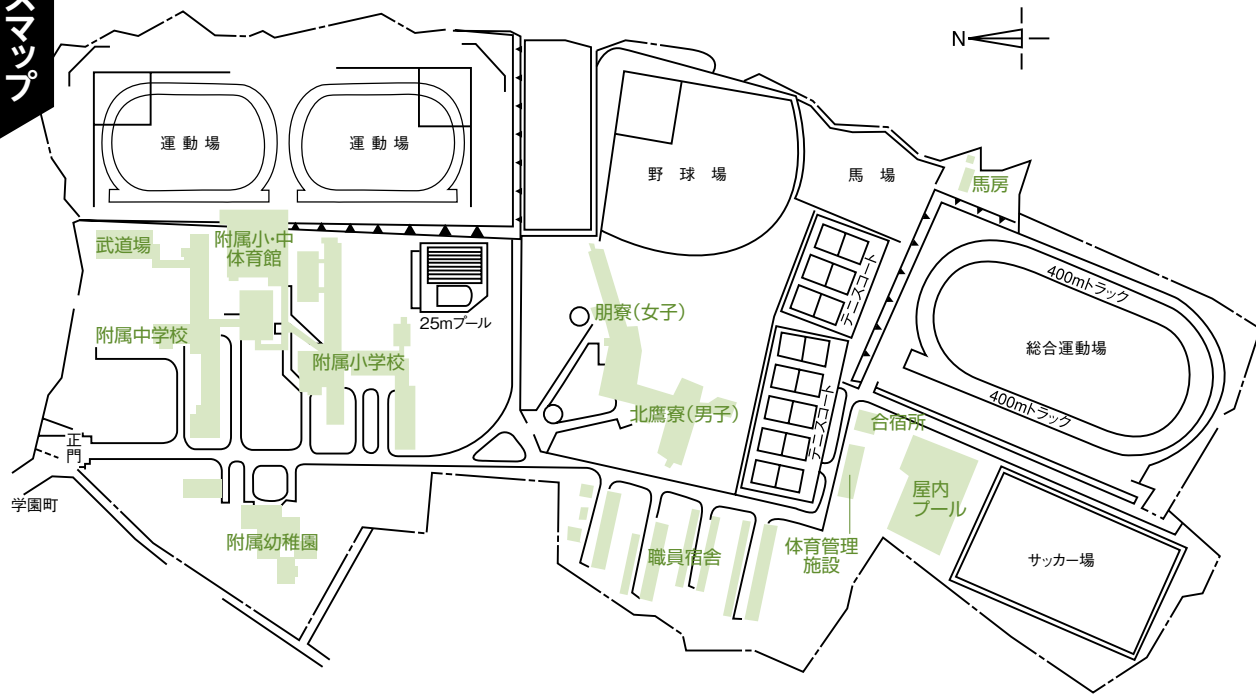


医学部コミュニケーションセンター

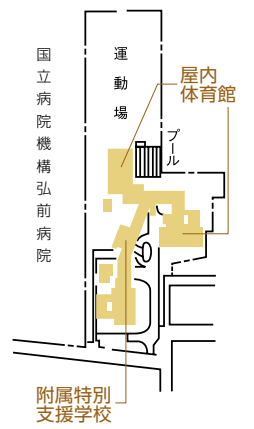


ひろだい保育園

学園町地区



富野町地区



附属小学校



附属中学校

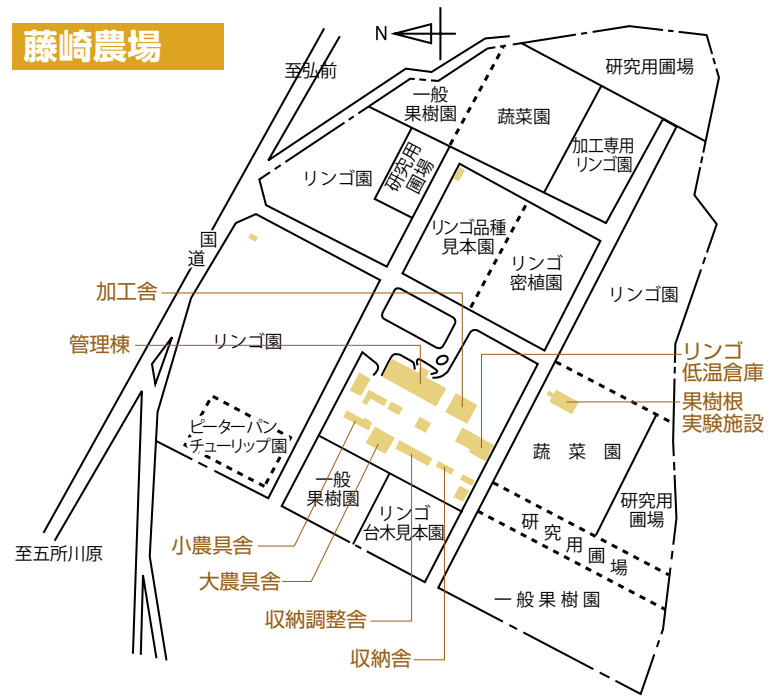


附属幼稚園



附属特別支援学校

藤崎農場



管理棟



ピーターパン・チューリップ園

金木農場



繁殖舎

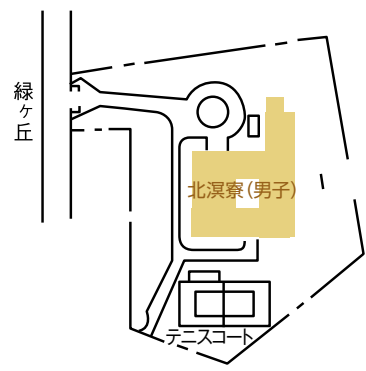


北凜寮

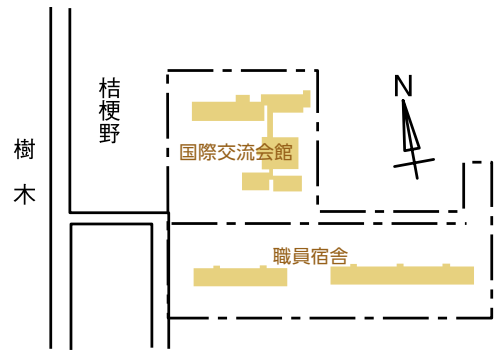


国際交流会館

緑ヶ丘地区



桔梗野地区



土地・建物

平成29年5月1日現在

区分		土地 (㎡)	建物延面積 (㎡)	
文京町地区	人文社会科学部		6,089	
	教育学部	教育学部	16,926	
		教育学部附属教育実践総合センター	541	
	理工学研究科	理工学研究科	22,663	
		理工学研究科附属地震火山観測所	268	
	農学生命科学部	農学生命科学部	13,200	
		コラボレーションセンター	4,582	
		農学生命科学部附属遺伝子実験施設	1,527	
	総合教育棟		11,927	
	附属図書館		6,111	
	保健管理センター		477	
	総合情報処理センター		2,351	
	コラボ弘大		3,758	
	創立50周年記念会館		1,515	
	大学会館		4,952	
	体育関係施設	第一・第二体育館・多目的広場	3,394	
	課外活動施設	弓道場・武道場、サークル棟 等	2,460	
	本部管理施設等	事務局、外国人教師館 他	4,293	
	小 計		135,267	107,034
	学園町地区	教育学部附属幼稚園		1,065
教育学部附属小学校			8,288	
教育学部附属中学校			8,171	
学生寄宿舎			6,372	
総合運動施設			3,077	
小 計		176,403	26,973	
本町地区	医学研究科・保健学研究科		57,191	
	医学部附属病院		74,320	
	看護師宿舎(研修医宿舎)		2,350	
	女性医師支援施設		250	
	医学部コミュニケーションセンター		894	
	体育施設	野球場、体育館	1,457	
小 計		94,511	136,462	
富野町地区	教育学部附属特別支援学校	10,605	3,874	
	教育学部附属特別支援学校実習施設	1,602	33	
	教育学部農業実習地	10,812	47	
小 計		23,019	3,954	
桔梗野地区	国際交流会館	3,143	2,030	
	職員宿舎	5,147	9,379	
小 計		8,290	11,409	
緑ヶ丘地区	学生寄宿舎	9,631	3,279	
紙漣町地区	文京荘	1,617	581	
その他	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 藤崎農場	142,607	2,370	
	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 金木農場	358,798	4,806	
	農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 深浦実験所	798	165	
	深浦ハウス	6,632	159	
	北日本新エネルギー研究所	(1,604)	(2,454)	
	食料科学研究所	(516)	(316)	
	白神自然環境研究所	(178,560)	255	
	理工学研究科附属地震火山観測所			
	岩崎・三厩・泊 地震観測点	(1,888)	100	
	梵珠山・濱横沢・百沢 火山観測点	(546)	45	
	納骨堂・埋骨堂	(48)	8	
	その他	3,676	500	
	小 計		695,673	11,178
	合 計		1,144,411	300,870

※()は借用

体育施設

平成29年5月1日現在

区分	所在地	面積	備考	
屋内施設	第一体育館	文京町	1,828	
	第一体育館	文京町	1,566	
	体育館	本 町	1,457	
	弓道場	文京町	140	
	武道場	文京町	756	柔道場、剣道場、合気道場、空手道場
	水泳プール	学園町	2,398	50メートル・9コース
	計		8,145	
	屋外施設	多目的広場	文京町	12,144
野球場		南郷町	9,981	
総合運動場		学園町	61,484	理條競技場(400メートルトラック)、サッカー・アーチェリー場、テニスコート8面、馬房、野球場
計		83,609		
合 計		91,754		

学生寮

平成29年5月1日現在

寮 名	面積	設置年度	収容人数	
			定員	現員
北溟寮(男子・留学生混住型)	3,279	40	106	98
朋寮(女子)	3,498	42	234	183
北鷹寮(男子)	2,874	43	200	109
合 計	9,651		540	390

国際交流会館

平成29年5月1日現在

区分	面積	施設の概要
A棟	982	单身室:31、共用部分:事務室、ラウンジ、ランドリー室
B棟	1,048	夫婦室11、家族室7
合計	2,030	



サテライト

弘前大学では、産学官の研究協力、生涯学習、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、弘前大学と地域社会の密接な連携を図ることを目的としてサテライトを設置しています。

八戸サテライト

弘前大学では平成14年6月1日、分室としての機能を持つ「弘前大学八戸サテライト」を開設し、これまで結びつきの弱かった八戸地域での活動拠点に築きました。

弘前大学八戸サテライトは、八戸地域において、産学官の研究協力、生涯学習、広報活動、その他教育研究に関する事業を行い、弘前大学と地域社会の密接な連携を図ることを目的としています。地域との連携を更に推進するため、平成19年11月1日、八戸商工会館1階に移設しました。

住所	〒031-8511 青森県八戸市堀端町2-3 八戸商工会館 1階
TEL	0178-43-1600
H P	http://www.rprc.hirosaki-u.ac.jp/~sate/hachi/



青森サテライト教室

弘前大学青森サテライト教室(北日本新エネルギー研究所2階)は、青森地域において、本学の分室としての機能を果たし、高等教育の推進を図ることを目的としています。

青森サテライト教室では、青森地域における大学院レベルの学問を学びたいという方の要望に応えるため、平成15年4月から、大学院の授業を中心とした事業を実施しています。

住所	〒030-0813 青森県青森市松原2-1-3
TEL	0172-39-3105



東京事務所

弘前大学東京事務所は、首都圏における産学官連携を強化するとともに、本学の研究シーズを広く公開し、共同研究、技術移転等による外部資金の導入を促進することを目的としています。主な事業内容は、次のとおりです。

1. 産学官連携事業(科学技術相談、共同研究及び技術移転等)の実施
2. 首都圏における企業等のニーズと弘前大学のシーズのマッチング
3. 研究シーズ発表会、パネル展示会及び講演会等の実施
4. 広報活動(入学試験、就職に関する情報提供及び大学紹介資料の閲覧・配布等)
5. その他東京事務所の設置目的を達成するための事業

住所	〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町 7階 703
TEL	03-3519-5060
H P	http://jtokyo.hirosaki-u.ac.jp/



区分	部局等名	所在地	電話番号	
文京町キャンパス	事務局	〒036-8560 弘前市文京町1	0172-36-2111 (大代表)	
	人文社会科学部			
	教育学部			
	教育学部附属教育実践総合センター			
	教育学部附属教員養成学研究開発センター			
	教育学部附属教員免許状更新講習支援室			
	地域社会研究科			
	生涯学習教育研究センター			
	保健管理センター			
	男女共同参画推進室			
	出版会			
	資料館			
	ボランティアセンター			
	国際連携本部			
	附属図書館			
	創立50周年記念会館			
	旧制弘前高等学校外国人教師館			
	理工学研究科			〒036-8561 弘前市文京町3
	理工学研究科附属地震火山観測所			(〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1)
	理工学研究科寒地気象実験室			
	農学生命科学部			〒036-8561 弘前市文京町3
	農学生命科学部附属遺伝子実験施設			
農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場	(〒038-3802 南津軽郡藤崎町藤崎下袋7-1)	0172-75-3026		
農学生命科学部附属生物共生教育研究センター金木農場	(〒037-0202 五所川原市金木町芦野84)	0173-53-2029		
農学生命科学部附属深浦実験所	(〒038-2300 西津軽郡深浦町吾妻沢173)	0173-74-3887		
総合情報処理センター	〒036-8561 弘前市文京町3	0172-36-2111 (大代表)		
機器分析センター				
附属学校園	教育学部附属幼稚園		0172-32-6815	
	教育学部附属小学校	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-7202	
	教育学部附属中学校		0172-32-7201	
	教育学部附属特別支援学校	〒036-8174 弘前市富野町1-76	0172-36-5011	
学寮・宿泊施設	北鷹寮(男子寮)	〒036-8152 弘前市学園町1-1	0172-32-2910	
	朋寮(女子寮)			
	北溟寮(男子・留学生混住型)	〒036-8253 弘前市緑ヶ丘1-8-4	0172-32-3364	
	文京荘(非常勤講師宿泊施設)	〒036-8221 弘前市紙漉町3-8	0172-32-0715	
	国際交流会館	〒036-8227 弘前市桔梗野2-20-17	0172-37-6854	
	深浦ハウス	〒038-2300 西津軽郡深浦町深浦岡崎338-229	0173-74-3085	
本町キャンパス	医学研究科	〒036-8562 弘前市在府町5	0172-33-5111 (大代表)	
	医学研究科附属脳神経血管病態研究施設			
	医学研究科附属高度先進医学研究センター			
	医学研究科附属動物実験施設			
	医学研究科附属子どものこころの発達研究センター			
	アイントープ総合実験室			
	附属図書館医学部分館			
	医学部附属病院			〒036-8563 弘前市本町53
	医学部附属病院看護師宿舍(研修医宿舍)			〒036-8311 弘前市相良町26
	医学部コミュニケーションセンター			〒036-8203 弘前市本町40-1
保健学研究科	〒036-8564 弘前市本町66-1	0172-33-5111 (大代表)		
研究所	被ばく医療総合研究所	〒036-8564 弘前市本町66-1	0172-39-5401	
	北日本新エネルギー研究所	〒030-0813 青森市松原2-1-3	017-735-3363	
	白神自然環境研究所	〒036-1424 中津軽郡西目屋村川原平大川添101-1	0172-39-3915 (社会連携課)	
	食料科学研究所	〒038-0012 青森市柳川2-1-1	017-763-5028	





- 1 文京町地区**
(事務局棟、附属図書館、人社、教育、理工、農生等)
◎JR弘前駅から 弘南バス ※約15分
JR弘前駅前(中央口)【3番のりば】「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗車、【弘前大学前】または【弘大農学生命科学部前】で下車 ※約15分
- 2 本町地区**
(医学部医学科・保健学科、医学部附属病院等)
◎JR弘前駅から 弘南バス ※約15分
①土手町循環100円バス乗車【大学病院前】下車
②JR弘前駅前(中央口)【6番のりば】「駒越線」に乗車、【大学病院前】で下車
③JR弘前駅前(中央口)【8番のりば】「金属団地・桜ヶ丘線」に乗車、【本町】で下車
- 3 学園町地区**
(附属幼稚園、小学校、中学校等)
◎JR弘前駅から 弘南バス ※約25分
JR弘前駅前(中央口)【3番のりば】「学園町線」に乗車、【学園町】で下車



東京	東北新幹線 (約3時間10分)	新青森	JR特急 (約30分)	弘前市
	飛行機 (約1時間20分)	青森空港	弘南バス (約55分)	
札幌	JR特急 (約3時間30分) 新函館	新青森	JR特急 (約30分)	
	北海道新幹線 (約1時間10分)	青森空港	弘南バス (約55分)	
盛岡	飛行機 (約45分)	青森空港		
仙台	高速バス ヨーデル号 (約2時間15分)			
	高速バス キャッスル号 (約4時間20分)			



HIROSAKI
UNIVERSITY

弘前大学ロゴマーク ■制定日/平成18年7月24日

■コンセプト

弘前市が全国に誇れる「桜」をモチーフにし、5学部の桜の花が集結し、未来に向けひとつ大きな花を開花させるというイメージを圖案化。中央にある丸は地球をイメージしており、弘前大学の卒業生がビジネス&研究において優秀な人材として貢献し、世界を飛びまわるという工夫を加えた表現にもしております。また、それぞれのカラーは、5学部のカラーを表現しており、(赤)医学部、(橙)教育学部、(緑)農学生命科学部、(紺)理工学部、(紫)人文社会科学部としています。さらに、地球の周りに桜を散りばめているようなイメージは、人工衛星的なイメージにも見え「地域発信の拠点となる弘前大学」という意味もあります。全体の色味としても現代風のカラフルな色彩にしており、フレッシュ感と躍動感、そして楽しいキャンパスライフという活気に満ちあふれたマークに仕上がっています。